フランコ總司令が

局等辨務官に就任

マドリッド二十日同盟」スペイ

**| 沙農館連牒によって第二次組造に | 広鑑が各方面に好果を難したこと| 二次初票機校康が組造は今井田殿。るが、過去二ヶ年この職婦機校の** 

進んであるが、徳近半島の一により、他よこの間が壁板を設村

|天功事機模機が形成は今井正成||るが、過去||ケ年この職験機模の||人事を決定したる後、顧超より||旅の一面一段前職環境による第一機校が認立されることになつてる||緑球部長天津級男氏の海洲個人り

近く各道の意見を聽く

日午前十時より明度、島田殿

相重既に抵棄るは簡諧層を聞く皆について二十三日午副十時から抵 算に地上すべき移植民の事業内容

議院法の改正に件

設置をはかる

福露的同盟智慧技は低京電道保安議長を招致し継続するところあり、全鮮的に機速の曖敗遷既ならものがあり注目されてゐる 、く目下各道常局と協力してこれが具體化に努力中であるが、烹蜜質に於ても資本験中で一層を整へるため、目下各道單位に一道貨物一會社、旅客一會社に自動車路線の統制を實現常で注象第0至7及び密線として4點の重要避難に終報に添報してある、民營自動車の施設改善と、輸送體

朝鮮總領/近龍獄官制中政正の

後、今後の米森事所に別處すべき

事情につき詳細なる発出ありたる

あるので、この間に厳して等内陸

の徴読さへ十分に既はれるものが 際思を無視するが如き場合に於て て財源機能に藉口してこの軍部の

機能である、他つて原田内閣にし るため感覚一新の脈行を帰還に主

いで都見米数局長より最近の米数 何思米数局長以下關係官話に各委

劉策につき協議に入った

拓殖安員會總會

るのではないかとの観測も行はれ んか、陸相の進退が過にも波及す 成出版、島田監相よりの接勢に次

行道に夫々一會社

鐵道局で具體化に努力

物並に旅客自動車

長から用年度接真の組成その他に動所最長倉職を招集、吉田臨道局職業員では、廿一日午前八時から

1製門委成に伝統する意向との

先つ矢島農林局長から水船作付九時半から本版第三官部窓で崩 本府定例局受賣銀は二十一日上 本府定例 局長會議 女のすぐ後へ迫つて、 の手に提げられてゐた手斧は、 平次郎は夜叉になつてゐた。

果、簡由文件談人から情報委員連の結局をから大家、異岩機議書画の結びの最低がより、次いで田中養務 局長からそれた、局弥の報告があ路に聞いて、大竹内跡、城が海南 側の加渡といはうか、紙一重のと、交響しい力で振り下ろした 差で、鋭い手件の刃は、お吉の黒

文部經濟式参列のため二十六日午 井田政務總監は新義州海軍協會 廿六日新義州へ そしてなほ逃げ噂ぶお吉を辿つて 「阿女つ、迷がしやあしねえぞつ

二十七日支部經濟式に窓み欠いで 部は江陽道芸順以記その他を慮疑 の上八月二日開始城の西 線外赤】

と、さけんで踊った。

何處へ何らいふ目的などは元よ

一出的した医西軍のうち北江の削級に、というとは、一大の西軍のうち北江の削級に、関東戦戦した。 左き」は制機でないにと語

- ない、四三年前が

廿二日午前七時四十五分京城都任挨拶の爲め二十一日本社來訪任挨拶の爲め二十一日本社來訪

洋係を設置

百班に海軍大佐選任 安川松井氏も参加か

天地支黄 大地支黄 十六分瓜山飲赴任 世日午助十時

**业童支方面の脳心が著しく高まつ。職し、國政としての南方政策の顧助、配匠・マレー単総、解謝以歴支那・局にがてはかくる交割の顧園に職職」に展議して各方面に於て開設。 温原仏して來て居るが、内願調企、東京記述】我國の南方荷様総深」し、既は取引を行ふと云ふる家が** 

て来、これと共に民間の砂糖業、一立を高週間なからしむる発面から

ゴム製芸他的場の開発方面は政府 | 今度內附調が局内に新たに 南洋

「学を設置することに意見決定し、

をやるのかと思ってみたら、と イギリスをたよりに階制統一

文能った。

職はそれ以上に定ることに耐へな

息は唱れるし、助けを呼ぶにもこ がれてゐるのである。 平次郎の騒だった。雖までが

フランスもドイツの兄馬に乗 **彰宅の代りに喧嘩を関つて出** 

刻々の情報に關心

程度の不安に要はれ政府軍働も動 【マドリッド二十日同盟】 革命軍

西班牙政府

モラ實施

軍の勝利を取言したと云はれる

革命軍に封し慶返りを命て一綱打断の色を示し、約一千名の粉疫が

スペイン政府

スペイン廢所待機

全國一灣にモラトリアムを公布、

90 一一。銀行道会は二千ペセタ以上を一級行並 引出すことを受す

寺内陸相の手腕注目

郡は之が蜀惣策に配る廣心し、來

**学すれば十五ば順即後に達するも** 

と見られ、軍備の充質は當面の

央軍が進入せんとすると言はあく 廣西の對中央態度 【上海二十日同盟】西南政局の變 廣東の廳長更迭

中の場位民氏は本日左の如く跳つ 計画もに廣東に出動中の廣照軍に 競の殿りを堅め書分形蠍の御校をまで活成するも、然らざる限り省

協議する害 は余逃離氏と今後申復願保につき

付けるのではないかと見られて

政党の問題をやつてあるが、関中で、その一部は沿近で購入に軍

然し、女の足には限りがあった

斧の刃が脳の中を

(くと追ひかけて来る語の意音が その大地を打つて、ばたお音の上つた階段を彼も上つて来 起ち上つたがもち

は、成してのたのである。私太足場も のこの御草も、昨日ですつかり落 のこの御草も、昨日ですつかり落 たそして、御堂の庭には、監修ませらにきれいに描き部められて心 選歩もすつかり取捌はれて、き のふの夕方は、かんな屑一つない

て、タタタタタを離り上つて、覧と、平次郎は、お吉の窓を見つけ 「国ダ、国やがつたなッ」

一 の手斧は、飽までそれを造ひつめ と十歳間かある総殿を、お吉は

のぞいてゐた。それから強敵の抗 その時、平次即はもう御堂の下 がてのしりと 御堂の床下を ろついてある くと光る手 尚懸 整色性汚れ高感光度!! 世界報優秀品と定評あり イゾラビツト イゾクローム乾板 冥金總額 流于五百圓 イザバン F イゾクロームフキルムと全く同等 理想的正全懸色性パソフキルム・ あらゆる撮影に 的歌迎を受けつ」あり 営業家にもアマテュアーにも勘任 地乾板と同様 の性質を有し而も値段は低廉、曹 歴史書は各材料店又は直接本雕へ 懸賞募集 戦場形用に最も使ひ易きフキルム 切 八月三十一日 大懸賞 フヰルム



慰夫佛妻 

彼 を であるとなると、再び無我要 では、 でいた。 を言は、何緒かにつまつ でいた。 を言は、何緒かにつまつ でいた。 を言は、何緒かにつまつ 中にそれをかけのぼつた。

た それは脱酸の上の挺盟珠柱であつ か冷たい金屋の肌が手にられた。 「オム、こんは即島の創造管の加 よろめく母を支へる顔みに、何

アグフア四大

優秀フキル

A

| 平次即は思想の話打をならした。 | 臨ちやな。 ……オン新しい曲堂 発と無意識に近いうちにも彼なの終 はふと佛の懷を思った、慈悲の俳 死ぬにも で殺されるに

茂分かなぐさめられる

グ

イゾパンーSS 微粒子・引伸し原板に好適

> r フ

**サルム、夜間撮影スポーツ温爽、** 耐局感光度を有する正全整色性で

アグフア

乾 ルヰ フ 厶

は板

て夏

b

定事項[東京監話]

三面程度で、これが一般和策 | つて各直にその意見を消くこと」

設立して本年度三百有能の配の 

上に向上し、敷衍能力はその二割 | 禊遊を冷騒し、敷務懇職通牒によ器飛路緩和によつて向梁やは粛か | より過出せしめて都市職勢襲殺の 諸院総和によって向型心は強か

政府側委員と衆院側委員間に

度調が関において能も影響の中心 L 医独三回の影響で楽器歌においておっなが、議院部 委員制度の設置で、帰院はの改正

問題は、徹院法の敗正に伊ふ常置

に送付し、距底だでは既所の反対

となるであらうと類似されてみる。ては福基一致即決可決の上現底院

日熱的論戰行はれ

國際電話で佐藤代表を呼出し 全を期す 外相が詳細報告聽取

代表を国際電話で呼び出し、完山 日午後五時モントルーにある佐藤| 教器加に尉し遺憾なきを助したが迟調印を同にして有田外相は二十 | 説明の形式を詳細報告せしめ、係 たモントルー本回議の結束を詳細 | 戦した場面を展開した |東京電話] トルコ海峡経緯の正 |を送へ本館職の職事録と国際係物 を敷時間の後に整へてゐたゝめ緊 一時はモントルーにおける部に武

要に萬金を則てるため同八時 蝦撻なかりしことを別念した一

|勝代表を呼び出して、調味||選出青和以下全開館出席練芸川縣||十ることが出来る

は則回の翻羅の申合せに從ひ午削一の交渉部過に鑑み交渉期間に對す 定例閣議

態度の表明を避けてゐるが、徒來

施容に於て交渉再開に限売するの用窓がある。 即ち我が方は温雨構変法をその 情機鍛しオーストラリアに對し ても順校引上、喰人特評制をそ のまゝに放住せしめて最近の打 開に寄り、所くて交渉再開を3 けるオーストラリア側の滅意を

とて母く反對しておるに財し、衆一の台灣的強強性、その他と共に今

『顧曾々期三ヶ月の規定は今よ」を合はせて夫々具體的事業に召手|かして眩宵洋院の動任副記録には続では

を できるから名間委員会の記憶 であるから名間委員員をの記憶 であるから名間委員員をの記憶 と加えていません。 はかるに関係員の記憶を表す。 なほぼの説がに知らればたので、 能をの様々の最近の信用を明さればを問く。 はなの後ので、 能をの様々の最近の信用を明さればを関する。 などの信用を回復する。 などの信用を回復する。 などの情報を回復する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を関係する。 などの情報を表する。 ないまたい ないまたいまたい ないまたい ないまたいまたい ないまたい ない ないまたい ないまたい ないまたい ない ないまたい ないまたい ないまたい ないまたい ないまたい ないまたい ないまたい ないまたい ない

銀山に開して十日深里に至るも外 **珍省に公正なく常局は之に到する** 

完全に革命軍の

規定近日發表

心

安

對 絕

イゾクロームボートレート

アグフア合名會社

大阪市東區北濱三ノ十七東京市麹町區丸ノ凸二ノ十

**強を崩脹、攻防舰派罪を初め間長** 初り、創山碑兵場に招楽、郷軍大 列等を行ふべく準備中である

○卿、突組尚州一名)は廿日午前 一時十分東經百廿五度八分、北緯一

別日祭丸(船路) 加戸市、一一八連行きの途中にあつた間駒が船所 個部より大阪門司を經て芝罘、天

日榮丸惱む

五七六の頭比物列車に客車を均結 すること」なった、運戦時刻は次

た同一の地域である 日米阿古船マグナリア號の遺練し

城津端川

鍵道局では北峰方面の最高均加能 に通便生の便をはかるため、八月 客車を増發

西大門署が大喜び中の皮肉

果して眞犯人は何れか?

西大門署の側では

いまで自信

足違ひで共犯を逃がし

更に追及證據固

一日から城神、端川間に第五七五、

京城西部南一の兇思三人組造派の一 

難事件も解決されたと思ばれた学 前に京州立石町でとり押さへた有 1世の今世の皇帝の現行を自由、1世の十二の孫正徳("\*)が廿日祭世 元き、一方の龍山器でも約一週間 中疆町市盛地市疆地區 "装斧兵

いで、龍山圏では廿一日早朝蜀爺 緊密局をアッと云はせた。しか 目信のある

李王職の蘭谷牧場

**續々と名馬出** 

までは最終を挙げた

られる前科四郎全门首での難

學振(生)の脱重な並及を進め同人 指名手配を 行ぶととす者として留当中であった大興町全 のこ名につきサー日朝になって かねてから三人強性の有力な容疑しある。なは同者ではこれが未認期

行心也也由

を利用して女の許に融って派たも

しるたもので去る十六日から休暇

鮮銀行本底に破跡してゐると、 明である機関出度は昨年十月まで

ので非常に仲むつまじく夕方一緒一

|散歩に出たりしてみた

朝鮮銀行に

雅行自自によつて金剛した地事 に、この犯行については今のとこ

ろ全型派の自白の外には何等の物

五千七百圓の『盛友』中山へ

今度内地へ十四頭旅立つ

三塁に卅分の歪で逃がしてしまつ 加に向つたが廿一日顧四勝頃、同

もはや時日の心地となって

女中に行つて

流みまはる女

警官宅で正體現る

の圓百七千五 る入見に馬名

臨道聯合分會と協力、京城附近在 で期するため、京城聯合分館前に |桁一萬人を、 聚る九月|

第世師殿司令部では、関院信務の一卅四度三分木神神小県山島南で遷 人に非常時を飛緞織せしめ、緊張 | ホアピークに浸水しつゝあるも航 歌に動して京城的近在住の在**将軍**とろ午期三時に至り自力で臨機― いなほ同連維地脈は去る六月廿七 行にはが支へなく人能にも異常な 霧のため単層、戦助を求めたると

龍山署に

質点学ペルメル 端川脊飼士時廿六分 されるはずである 来で、この善行が分り、近く表彰

得おったが附近で遊跡中間く研究が西米市町二大〇業吉明長田楽成 口梁の父親が職隊長の許に耐機に せんとするを建見、数切したが甘 以近江岸架構材料置場で配務中京 山上兵第廿縣蘇第一中隊一等兵 兵隊さん 君は去る十八日午後六時

宮では二十三日午削九時から朝鮮神宮大樹でこの國連隆総術類祭を

京城の郷軍動員

ナ供を敷ふ

に攻防演習

非常時の再認識に

軍當局で具體的計畫をすゝむ

全神社に二・二六事件の報告、國民塾つて協心裁力し報公の赤城を内務省では二十三日から二十八日まで金属十一萬の官國幣山以下の一

朝鮮神宮はじめ全神社で

國運隆昌の祈願祭

その他一般が参列して報公の赤波を押削に新数する朝鮮神呂の祭祀には今井田政治場別を初め木府所屬の局談長、軍部 執行する、同時に全鮮の神社も一斉に異行されるととなった、富日

新義州と清津と

飛行塲を改良

コンクリート滑走路

空物の街車との削減行場は冬は長期航空の機場で目下貨庫中の満洲 年の機に初望の六月店も解氷しな い結氷別で使用拡戦となる上に今 い結果、地盤が緩み使用禁止を喰

根本的に場内の地ならしを行ふこ とになり犬々十二年度選挙に組込 |期工事として約二萬回をかけて | てゐるところから推してもその供 「滑走路を造り、清津は先つ第 | らか許して下さい」と捺が哀頼し 巡には組售信すべき點があり、耶

北山岩では極端狸に活動中である といふ説が有力でもあつたので 犯人が地方 のまるこ

心機器師由線で、大きな皮質を指 魔犯人就は 以といるといで 果して銀質とすれば四大門割 おいて二日間に亘り地行される 月一日午後一時より京城連転協に

野城に出場する全京城軍は 全京城軍出發 亞巴拉

と紹す

鮮銀行貞 ダン

仁川の潮時 22

||電印本郷原樹|||常語菜削アメート || 男校開記後("J.)|||脈にその内形象を ||東京電話||二十日午後十一時頃|| 半で三重勝桑名郡伊僧県お晃の四

休暇に東京に出かけ

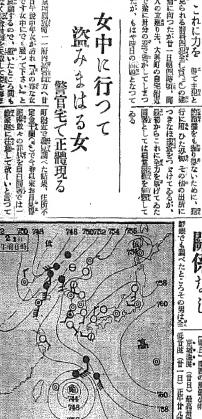
ダンスホールダンサー佐々木換(こ

を発げたのを避見、本富士器で調 己の用名がカルモチンを服骸心中

へたが死後一日を經過してゐるら

く遺脱その他なく脱掛は至く不

銀行本店に競渉してみっといっます。又神鏡の南方的二百軒の花は間である総賦忠燮は昨年十月まで、別なので居り面離から見して後年運じ不連続線が取らったのでは、別なりである総賦忠燮は昨年十月まで、別な一番に関って過ぎであるといっます。又神鏡の南京地では、日本の本語といっます。又神鏡の南方的二百軒の花



山口、大阪、京加、東京各地の受恵家及び騎手の來望ありて、出出せる サラブレツ

近年開合護馬の能力優雅なるを認めらるとに至り朝鮮では京場より、内地は小野、 既報の如く李王慶蘭合牧皇では去る十八日同盟生産の原正系三島県の郷政を襲行

を見た、前して共最高の思は「臨夜」號で五千七百圓を以て中山最豊富の特別宗五 上し及び「アングロアラブ」などの良験二十頭は僅か」頭を対すのムで十八頭の即数

地氏の手に落ちた

知質に示しつゝあることは徹底の朝鮮として大いに家をはいてゐる

な圧右十八頭の内朝鮮

には四般、内地には十四頭が質はせられた

加して同国の生産患の敷却は毎年戦力しつよるので類節が高麗にも好過することをあれた。これは本者同作業部出典島の帯域で非常に有別にせられて居るものである。

です女中にでも最って下さいとと日午後中华女が訪れているの歌な女

又『ブラブ』系の三頭は小倉庫馬供樂部の友技理事の瞬間で加賀馬として特別せ

四在住名士等的五百名参列臨實で 公爵館の落成式を、廿一日午町十 計二萬間を投じ新桑した臨道局 時から撃行、護道嗣保者職に龍 鐵道局友會館

道局では局政の四条部として工一に数まれ東大門署で加入率管中 けふ盛大な落成式

全國中等野球

油虫にましまっしい 图體往來 大阪府立部 成底部、金剛山深晒後卅日午前 際商群中部第一要鑑はいよく一 一古い傳統を以て全國的に人言ある一然行政でなくかつ今まで行政であ 毎日主催の第二十二回全国中等野一つた事もなく、何らの脳影もない

男である事が特別した

豕具○御用命

全國有名文具店に有り カタマグ没量 

申込證據金

フ 方 社 関連が高います。 東京大 八日 祖学 (東京大) 大大) 日本 (東京大) 大人 「東京大) 日本 (東京大) 日本 (東京大)

京城府南大門通三丁目

銀

行

店扱取込申

小他 超撃 株式 曾社 本支 占野村 間撃 株式 曾社 本支 店野村 間撃株式 曾社 本支店

ラ

山本家具店

始される、田場入校第一回報の組 合せは次の通り 十二日午即九時から京城歌場に開

**離果大門壁面軌道枕木肘ブース線 線路元し** 廿日 ダ京軌道頭

▲米周東洋美術文化研究圖六名

二百卅六米時間百四十個を何番か。テル廿七日奉天へ

の·晩·今 オ ヂ ラ

胡ハー等

みのや

吳服店

**鑛山詐欺** 本町署に検撃

盟軍職保持指たる医島高女チーム

女子排球の顕者

**嫹島高女來征** 

谷品女午後一時對京城第二品女師前置科▲廿六旦午間十時對記 的職、左のスケジュールで京城 除国を作取したこと判明、数日間目の富豪李範番氏その他から八千 明らしい酸山があるとて釧路一下 のを現に利用して思南牙山郡に崇 は世間が顕山然に浮かされてるる

マョネーズ

<del></del>
举七月

離期

鮮 殖

產 銀

行

==

aa

社會式株機電菱三 社會式株事商菱三

屋の桃とびわの謎

■ 第一章第二章第六回章将章6 日以降債券引換三元司争9回支持司票高量票7号√利子へ支持不改版日以降債券引換三元司争9回天収被下废候日以降債券会報壹子、萬厘也、來ル八月六日臨時信還に回朝鮮殖産債券会報壹子、萬厘也、來ル八月六日臨時信還料1個。產債券会報壹子、萬厘也、來ル八月六日臨時信還料1個。產債券会報壹子、萬厘也、來ル八月六日臨時信還

本町署合山州軍部長、崔原事極

軟式都市對抗強選

型校陸上競技選手能大師は歩う人

題根据0400421 全般天氣豫報 2

山海

退信羅託監 御家庭の御食贈にも

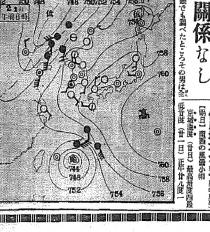
日本変紀を内では登上の一本変紀を内では、一本変紀を内では、日本変紀を内では、日本ので

※3和拾壹年九月畝拾五日迄に御申申併の決議を貸したるに依り本決議に付い本決議に付いる。

Nに異議の御申出無さと言は本決職を承認せられたる べく念の為め申添族 指信学九月鉱拾五日迄に御申出相成健商法の規定に、6歳を貸したるに依り本代版に劉し飛稿を存せらる段離を貸したるに依り本代版に劉し飛鶴を存せらるけた資本は、10歳未成。10歳年は月前拾ら年七月鉱拾日、公州

會會 抗抗抗

頭痛品語 tt 9 00 0



この好機をお見逃しなく

一のきせぬ海の眺め 五階の展望台 五階の展望台 東病を治す 電病を治す 電点型工士室一泊軟食室科共 自気型工士室一泊軟食室科共 自気型工士室一泊軟食室科共 自気型工士室一泊軟食室科共 自気型工士室一泊軟食室科共

が一番だ

うすもの吳服特賣

質を帯びるに至り至く前途を登場

の一部有志と初めて會見したが内の一部有志と初めて會見したが内容を地方数から、これに伴つて護貞間からいろ(一部が出た、道としては何養育開催については何重に老労中であり、開催の話もかれ合言類からもあった。とはが

先づ第一に先送問題として憧憺 の手からと言を続ひとりこれを継ぎの極度等を連続するよりを 引返した、これをふた坂井は今井 西庭医療を施験するよりを 引返した、これをふた坂井は今井 の語楽も多く、 財源黄癜の近梢 エゴの和泉守衆定のと言を持つて の語楽も多く、 財源黄癜の近梢 エオをからと言を持つて の語楽も多く、 財源黄癜の近梢

批は府館の不一致で断次軍大な性

就にあるが右について街里な開係 石質頭の立器は益々服職となる脈されぬを禁を顕成し土崖が武、立

を有する土脈知事は十八日左の如

立有會頭からもあつたことは事立有會頭からもあったことは事質だがこの問題は經華に養否を含べられぬ重次な問題であると思ふ、地方戦の補助金を支出するにしても道内の重要を表した。

妓生のご難

を進めてある

者三十名を檢験し嚴重なる取調べ では今後を戒めるため財活の首は を降らした大説師について平振者 部落民四百名が大同江岸で血の雨

員は世段人未達罪で取押へられた

初めて客席見参の

過能物理質問題に關し形實際員一

酒宴歸りの兄哥連

血に彩る大亂闘

校を終了し當夜初めて妓生として けた妓生金武珠さんへしは妓生學

撃に係官認はず苦笑 うか』と泣かんばかりのおろく

八日夜中の配師で既は四難を受一代を一體誰が掘つてくれるのだら

夜に花代も貰へず

代が一生の幸福を左右するとあつ の一歩を示み出したが、初夜の花

府廳員溺死

當夜喜んで徳源はへ呼ばれてこ

ヒ首を揮はれて二名重傷

夏の夜の街に惨事

旧民の盟面問題と化した情報的記

**鹿襲和河溜池にお互びに壁の宅を「新興間を進行中、総路上に一切館」その他は不同** 【層出】去る十九日午前八時既就「溜那級上り第八二二列形が北新郎」が出したが同に合はす謎れ、身元

人が腹そべつてゐるのを避見、命一

安賦里の根守連、李起順、根仁伝で

井戸水にご用心

使用禁止をお布令

へて丸元散物協館で題ば野楽した【咸興】第三回初館政物大館を起

宣傳歌

一等はなし

穀物大會の

と報明したがセンチメンタルなど 十八日経列車で鼠海へ行つたもの

線路枕に往生

古記録に何か無いものかと府史籍 【平集】十九日午後等時三十分頃 「籌数于九百三十六のうも不良三百」 良井戸 卅を越えてゐる、平壤器で

女等の同性心中とみられてゐる

の井戸の一度観査を行つたところ 切た、特に注意すべきは藤町で不 定した、大顫の歐服ふる歌詞に那「石塩」 断土木瓢では豚粕両縁に「十四、成桝に強すべきは藤町で不 定した、大顫の歐服ふる歌詞に加と洗りを開い 本中から殿前されたこととて一等 はこの検定の結果に基づき不良井一十二等(十回) 東井戸卅を越えてゐる、平振器で一途差段に作詞を踏める語 外の河重を吸収し水道のメートルは十八日四干 四百三立方米、十九日は四王三百十三立方米と 七分此監督に耐餐兒童ブールは連日一千三百内 張る自然で十八日卅八度一分、十九日は卅九度。 塗に猛烈な時器があれた、懸る水銀程は破異の

府民の協力が第

補助は確言出來ないが

熱さへあれば經費問題は解決する

上師知事の意見

ら黒船々天約五十名と脳内平川里

【平男】 去の十七日子供の忠戦か

首謀者へお灸

大亂鬪事件

虹牌歌は脚弾作品二十六間の対影

程度である。一體からした早階が 今までにもあったのかと草分け當 提供時から居住してゐる歐田

古老の回想談

で加速を対しています。
 で加速を対しています。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。

 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 ではなる。
 ではなる。
 ではなる。
 ではなる。
 ではなる。
 ではなる。
 ではなる。
 で

将某立應 民如莽機 惡在神明 原為其神

線は揚水が五百餘トンといる數字 金示してあるのが聊か心情めにな 部ぐんと減つで六干トン、第二水 大を仰いで長大島、上水道第一水 の好天第に五萬府民は今更ながら

と見せられた配文を左に紹介する

ア水を使用して一日人百五十トン odである、給水は出來るだけ非

毛髪を結び合せた

少女三人の死體

鎭海慶和洞の溜池に浮ぶ

感傷の同性心中か

して一両日中に逮捕の見込みで

長嶽山出獄里金見渡人。方に年齢【海州】十八日午前二時頃兵滅台 三十前後の洋服を着た経費年一名

融んだ丸元 大豆と米出鉛行く船 人気の庭風

明艦中の李朝潟器成は好事家の非【李豊】十七日から平場開物館で

**小正貯組に全滅** 

四十餘組合悉く解散の手續

明朗化した舊馬山

森田

Ť

ない。と答べる談訳に「射つぞ」 荷やかしで民間に案内させ演院 株乙温泉 冬知らず 避暑は鮭戦湖 紅葉は金剛

した、金融に送した長瀬路では秋 布の旅りに、風の香森へて した、金融に送した長瀬路では秋 布の旅りに、風の香森へて 続いたりに、日報一億 続い、日報一億 の所持せる堡銃は本物にあらずし 売級を扱り活動の結果、**任**青年

て玩具の學院であること物明する 巡"成與軍空通告木大兵街,元《選升佳作(五風)成北錦津水上

十ヶ所に及び、麓かれた色々の隣けでも歳川、中和、江西をはちめ って釈明してゐる際は、平南道だ 館ではこれを推翻に窯の構造様式留な人気を呼んであるが平期恢复 にした、即も現在本府の調査によ と提方の本格的調査に乗り出すと

間に能定的にいばれてみる諮詢が「正常組に着しては距離の如く馬山路も時代により腕る復越で現在は「捨て除された四十有様の進馬山不 存て除された四十有様の響馬山不 り賦予解散を能した結果、さしも | 院で加賀したところ奉ひ生命は取得「馬山」 無政策線り ダーとして、 | 窓中村司法主任の英語で二十日級 | のものが観点、直ちに元町松原持

超過に
現喩つて
あたこれ
等[陰間形] 止めた
が
服因は
廃洲に
卵出して
カ 合の組合長たる獅馬山脈衆の巨頭 | 六千圓の鷸通方を戦んだが、容れ組む二十日萬町二二六乙亥総済組 | フェーで二様きせんものと、兄に 具は旭氏の解散手限を最後として こゝに全く機器されたが皆局はこ 等組合に関し本年末までの清算

なつたものらしい

スリ公失敗

られなかつたのを悲観して自楽に

鶏卵四個、牛乳三合に匹適す

北鮮の街に咸興も

期限を見へたは毎月一、二回の荷 単な忠院を配けることしなった 野事務處理狀況を報告せしめ、殿

水銀柱はなんと卅八度一分

だが水道は大丈夫

ノく暑さ

日復護町支那料理店金分融でした たか飲酒の後十一時頃猫イラズを 王李思明氏の弟李太甲(ご)は十九 【馬山】 府内元町一七六宵洋路曾 | で依照の重要を見物中の東城町| で依照の重要を見物中の東城町| 日棄男服毒 危く助かる を扱き取つて逃走せんとしたと ケットから三十四個除入りの遊口 十九日午後四時ごろ徳山町三角堂 行語を装つて形内各市場を徘徊、 ノ九三季陽明氏( "このズボンのボ

盛下、同町遊戯明で客段中を由立しろを巡邏中の刑事に起見され御 酔ひでれの夫

疲

れをぬぐひ

かな刺戟が

たい

女房を抉る

元氣を甦らす

んだんに敬んだ版水自動車が固版なく走り廻る天井知らずに昇つても街には勿悩なや帯水をふ れば七千六百立方米迄は大丈夫だから水銀柱は 蔵與水道は四台の揚水ボンブが全能力を砂庫す 既いて本年の最高記録を示してゐる、併し幸に

【圣山] 圆南金布郡上東西大甘里 言ひ込められて 腹立ち紛れの兇行

門

から斬りつけられ東傷をうけ透り び大説闘を演じ坂口と田中は今井 てゐる坂口遠の中におどり込み再 つて折柄自動車で引揚げようとし

た阪立ち紛れに出外間丁を遡つてCallと大戦等を始め言ひ込められ 女房の下腹部を抉り強死の重傷を 時ごろ泥酔して闘宅し要の権害が歴金原柱(こ)は去る十八日午後九 間中職群場関と草島を以び 八日午前十時から午後四時まで羅 年度理算を誑敲した、十九日は午 下に明白、十年世央祭報告、十一 建公立普通學校で教式十名出版の

大ビー

ル

の穀物協質總督から「鎮南浦」平北宮川 団の明賀さん

い」とこちや、田舎 ろは聞きしにまさら 暗南した丸ナ穀物盤 ついや鼠川ちらとこ

器に初野人 関単宮野祭 る十八日午 【本天】去

唯事ならじと『何がく』とせき わしも……オホン…おとなしく話 て上記なのぢや、それでサスガの 『宿屋の女中さんが楽しく 関かされた記者連中 と感心してゐるので

で十八歳の時大連で内地人中原果

金必善(ニョ)

最高极清凉飲料

と結婚、一昨年:月北湖チチハル

0

美しい李朝陶器 窯の構造と焼方

平壤博物館が本格的調査 定説動搖を豫想

群山於靑島 三時から同島で発行

民は李朝陶器)

【三科】初めての総みである会北「十国を跨取高端してゐたが経近後」
廿二二日 肝・通 横絵関方から雑版外数整質粉段四

間の無電

とみられ配る斯符されてゐる(智)山を結ぶ無常開通式は廿三日午後この副章により多の削縮するもの一群山を語る七十キロの於書島と菲

三国力ら同盟で操行

「國際」 暗り縦高 上歌走方面守遠音歌を変を取った。
「西郷空園母」・上部流道料四組 上歌走方面守遠音歌を変を取った。
「西郷空園母」・上部流道料四組 上歌走方面守遠音歌を変を変で、
「使名――が一人様の姿にたま
「使名――が一人様の姿にたま
」「一般な過去で表し、一般などに入し

に連捕された

老婆の轢死

部で中のところ二十日芸局

即光、身元間資中 路に立入り列車に踏ね飛ばされて 不諾の公食風の八十歳の老婆が 江景論から続六キロの地壁で姓名「江景」二十日午後四時二十分頃

夏夜の痴漢(大田

社会式株酒麥鮮朝

百貨店に怪盗

悪天】去る上七日午後十一時か一

貴金属盗む

入したものと物明、独人展集中

**坂具の拳銃で** 

散々に脅迫

怯えた息子瞞さる

長淵の圖太い强盗

一百年前の旱魃

一次に及ぶ

三昔前から惡評蒙る上水道

南浦の水飢饉調べ

**新稷、霧阴節、庇鉢島** 

地人である 二院改会顧訊で時間七百餘國を鑑 なほ現在與者總數の九類までは内、惣連七院建百郎店に信欲が受入し の十八日朝四時までの間に黎天浪 七百餘圓の 果、開けつ配しの二旅の歌から観響の結 まれてゐるのを午前九時の開版の

物が肝脏でメチャーへ参考人としなぐられて配がはれ上りその上着 類に、この野地々とばかり横面を 突然行方不明となったので振音の れた人選が大戦略をしてゐて出合一般でしがだ人三、四名と水が中、 て警察へ呼ばれっぱ物がよごれた 際へ上らんとしたところ呼んでく 同江岸で平郷府土木跳成保館正二【平型】ト九月午後三降は著河大

緑映ゆる水郷一春川昭陽江

船大工坂口二里(\*\*\*)田中武吉(\*\*\*)別ひに、「城引かけた府内戦南郷里

となって現れた、別因は心臓脈神・症果、同六時は現場附近で部分腫

**慶興教育研究會** 

が因で今はモヒ思素となってしま

るたが病者からモヒ性財をしたの

頼るところなく酸々女中奉公して

人質に拉致され生死不明でその後 塵に逢び家居は至部奪はれ、夫は に赴き飲食店開業中、同年六月配

|事情んだよ。関いてた富龍國極王

『何ありやあそこのムスメだよ』

「えヮ、なに?ナルホド」

5特に御注意が肝要です せた類似品がありますか せた類似品がありますか

リボンシトロンニッ矢サイダー



# 然の有無と体重の如何は、病氣の恢復するか否かを 結核その他の慢性病患者や一般病衰者にどつて、食 食慾を体重 | は治病上の | 二大標識

# 以もこゝに在ります。 増して來れば 病氣の快方に 向ひつゝある 證據と考 判定するパロメーターであつて、食慾が進み体重も へてよく、醫家が治病に際し、この点を重視する所

ポリタミンをのんで食慾が増進するのは、既に服用者間の定評ですが の製剤が用ひられたが、近時、滋養强壯劑の白眉たるアミノ酸綜合劑 の量及び酸度を増加することが説明されました。 最近、大について行ひたる實驗に於て、著しく胃液の分泌を亢進しそ ポリタミンがこの目的に對しても脱んに愛用されてわます。 食慾健進の目的に、これまで苦味薬とか臓器製剤、酵母剤等いろくし

# アミノ酸は胃液の分泌を促す

學者の認むるが如く、細胞を賦活して「胃液の分泌を促す」優れたる 蓋しポリタミンの主成分たるアミノ酸は、ラスク博士をはじめ内外語 解せられまする 作用を有し、一方アミノ酸の便通作用と相俟つて、食慾を増進すると

は最適します

見やせ、

夏まけする人に

腺病質の小見さ

病後恢復期の人

産後・手術後の人に

胃腸が弱く

肉や卵を食しても栄養不良の人に

性病患者で食慾のない

ポリタミン

こんな人に

その爲には、日光、大氣、睡眠、運動等に留意すると共に、榮養の堵進を はかれば期せずども体重は増加するわけですっ 体重が増加すれば勢ひ身体の抵抗力や病氣に對する自然治癒力が强くなる は遠しられない。問題は如何なる榮養素を攝取するかにあります。 しかし榮養の増進と云つても、たゞ無闇に滋養物を舐るだけではその目的

# アミノ酸は体蛋白をつくるもと

給が何より大切です。 ないて体蛋白の消耗の苦しき病衰患者には、蛋白質糖蛋白を補つてゆかねばならぬ。 况して体蛋白の消耗の苦しき病衰患者には、蛋白質糖医胰人は体重一キョグラムにつき、蛋白質1―11グラムをとつて、 日夜消耗さる、体

酸を用ひる方が、最も効果的な体質増加法です。 つまり体重増加をはかるには、蛋白質をとることです。而して蛋白質はア ミノ酸に消化されずには絶對に吸收同化されないから、蛋白質よりアミノ

ン、成長發育素リジン、本 **電増加素ヒスチヂン、アル** 血液構成原トリプトファ

の他食慾增進アミノ酸 等を豊富 な未消化性英菱劑とは全然本質を異に 微量のアミノ酸を含むものや、原料其儘の粗雑 に含有した唯一の製剤です。

率高く、しかも食慾増進、体重増加作用。 でいるから、質腸の弱い病衰者にも効がでいるがら、質腸の弱い病衰者にも効が と相俟つて抵抗力を騒大にします。

**空腹時に服用すれば……** 吸收もよく、食慾も一層增進し

大 中 小瓶 瓶 (一圓五五錢

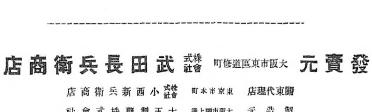
(四圓五〇錢 (二圓五〇銭

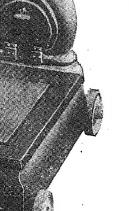
夏季に最適の温壯 ポリタミンは、牛乳蛋白を人体の

同様に酵素消化して製出した完全ア ン原さして重要なチロヂン



社會式株築製五大 五上畑市町大 元 造 製





新子「健康と蛋白」無代送品

者が開催工同作者が放しいもので した場所へ出かける際には、保護 あります、即綱又は友人同志の夜 てくるわけであります、肝しさら

夕方から夜にかけていありまして (又) 阪街にどで不良が年と、(と)、 てほつと一見つくのは (又) 阪街にどで不良が年と

れた満などもあります

のでは、 のでは、 が記され、 別内のでは本版 | 強ひを窓き起した例もあるのであ です。 のでは大住時はな動調大館・標準大り、交融がはじめられて、遠上間では大住時はな動調大館・標準大り、交融がはじめられて、遠上間では大住時はな動時にある。 納路、散歩、銀おどりのはにう

あり、皮重くまで原理を棚間した一の、みだれてあるものは見苦しいの外出は、まことに危険なもので 自然生徒の外出と顕宗の度を加へ「要生の接近する動機をも作り続いますと、・・・・・ 「跳びに興じてゐて思はぬ | ばかりでなく、些細なことながら あります 接手に出意していたときたいのでものでありまして、層紀上からも 枝のとうのはないも

( てにつと一思つくのは (又) 波雷はどで不良要年と炎) 暑に高地から解放され 判當数によって居るのであります 出(外)(の)(夜

週出步さは

服装を整つよ

せぬやうに



長い体験のことであり、父 課外讀物に就いて

立つものでありますが、好ま には、肛にその動物は動な数 しから四温物は、いつしか質

して威き、萬一にも如何はし

するに厳しては、必ず制度を互用

然して観覧師の強い常少年のも努からうと思ひます。機能的語をを限力する機 自田な時間を母留にもつ脚級

供の副していて充分往心を 語の間に記ませる質に思うしい語図となることを与へねば 父兄の方々に於かれては子

こんなお料理を

らへるとよいです。先づ胡瓜の皮」

加へ、限方の味がよくなるまで窓 と随画で興味をつけ、今の胡瓜を 水溶きの片葉計を流して計をどろ ら針のやうに切つた住妾を撤さる りとさせます、深田に盛つた上か 細能にても間に合ひます)胡瓜の 及をむいておき (無い時には壁の 人れて頭く概ます、肌に芝梅老の しみこんだ気を見て

爵曲で味加級した計をつくり、こ中に詰めます、数出計、味椒砂糖 温のみをつぶし、鶏卵一個と開出 をつき出して洗つておきます、雌などのとい、成をむき、瞬間を落し離 題の献しい間の緊張した。一、はい・姿もなく、吹്鉄の思い実料しる次がであります。自身ません
・ はい・姿もなく、吹്鉄の思い実料しる次がであります。 はい・姿もなく、吹്鉄の思い実料しる次がであります 短期を傾ふに最も発生する異常で する機に特にするめていたとき世 体戦中といへども、學習を中止 | 三胆菌の勉強は第二學語に入つて 一學期に大影響 朝の中に勉强なさい

胡瓜を使つて

スに演出するつくつておいてゆ郷。は小歌のおうし身をぴひます、「嗨」ナHSSとュバラフェドル・・・・取り、」寸ばの実に切ります、こ。切つて鮮につけておきます。 喰戸 しめます、成だけ入れますと振るに取り、」寸ばの実に切ります、こ。切つて鮮につけておきます。喰戸 しめます、成だけ入れますと振るに をむき、経に四つ側となし、腑を一に浸し、しんなりした所で水気を 大きなもの、節ものなどに向か 鳴戸一色胡瓜 太吉野胡瓜 葡萄の中でなっ を上にむけて器に繰ります ご存知ですかー いだ後、海く壁にないて髄水の中をコすくらぬの長さに切り一度は 鳴戶二色胡瓜 杰 盟

やきの方は融と砂期を加へて管通 リケン分か、又は水に浸して飲かけ小館のおろし身を使ひます、節 け出るおそれがありますから、メ

車流、失眠り大きい胡瓜がよ

(44) 戰合圖漫案新裝認調(キマノソナソナ)

さ あ 夏 休

して暮さう

登山、旅行 す、即ち郷生、共他身織上の保護 け勿論、精神上、風紀上にも注意 併しこれにも 相當性感を受しま

ましい限りであります

を利用して、設計し、運動に、殴行に、政

「動勢作業に、海へ山へと思ふほ分、自己

なりました、見電生徒選は、この長い休暇

ではないかと考へます

これらの既については、駅校からもそれ

すから家庭に於ては十分に注意を関する時

いよく一今年も夏明休暇を迎へることに

会会会 父兄の監督心得帳

の趣味の主ゝに過さんものと、いろくくの

す太殿間としては校外保導の立場から、絵教校外に於て、児童生能を看ずつて居りま く、御性風のあつたこととなじますが、平

氏夫武多本

般的自由に解放された生活は、助もすれば 心臓を生み、整性の伊ひ島いものでありま

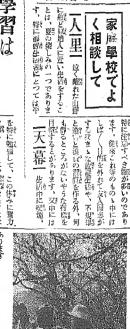
> まして各限の事項を取機めて御参考に供す に保護者の方々に御者属を願ひたいと考へ

も非常に影響するものである懸を

併し般校の直接指導と監督とを離れ、比

する状まっな影響生調や、不規郷とはく一日他を外れて友人問志がます。微米これ等のものゝ中には 特に注意すべき脈が多いのであり すべきことは多々あるとおへられ 水泳以附近での天涯生活には、

家庭學校でよ く相談して



に船と設始人に近い生活をするこ

人里 受職去場

短所を組ぶに設も裏まれた時間で「作姿の上からもまことに誤すしい 備へることがなければなりません 回の破綻をますく「重ね、他日に」を命て、も所に観を繰り、いにし 総容のあるものは、自己の襲む方。 文体収中を利用して確認な譲行 を観ふとゝもに、感響度度でなほ。 あります この体みは自己の長所を伸し、 め、知識をはす上からも、亦類神となるか、咳 交体眼中を利用して順節な態行したわするものであります

併し層に

ろし、御願をあて、甘能に浸しお「でゆつくり立とるころトマトソ」小郎(は下)しらへして三枚にお「す、これを割けを点出したスープ切つて重ねてタル(\と敬きます「聊を一帰総せ泣せたちのを詰めず き、矢張り桂胡瓜に重ねて器きま ず二色を同じ大に切り二三十一十二 即を一個混ぜ合せたものを詰めず スを加へ盟制制で味をつけます 支那風胡瓜料理 緊

名の一色は海境野やきを、一色に一つれて中身がしまつて胡瓜から四」させたもの、胡瓜とは思くの味に 糖醬曲、又は鹽、味の蒸等で調味」

虎を生描って行き、これを展京の ドでいためスープを加へて煮、砂一丁どうであらう。はりには黴山の も二寸段さの相子水に切り、ラー が知る窓が利いてある! し、片い間を加へて汁をどつりと

れに牛肉が鶏肉の強いたものを詰 胡瓜は東京の時のやうに作り、こ 肌につけ供します

洋食好み胡瓜料理



壁の前と同じに一くなったパンを歩々加へつなぎに

間】 近十一歳の女ですがな腹へになりかけた時に胃がきりへになりかけた時に胃がきりくに痛みが止ります。 意年来のこと 毎年のこと 毎年のこと 毎年のこと 毎年のこと 毎年の こと 毎日の こと もの こと もの こと 毎日の こと もの 胃が痛い

本田 博士 丹これは望しいと、一同し 虎部に して食べた。

氣臭の棚戸

に何んとなく部屋が高端をお がしたり、文明語りの母

片欄に食べ物の臭氣

臭気のあるときは消災を一つ

かみ皿に入れておくと臭

郷止めになると妙です

のを暮る、機能が変似は入れを配 て行く。これはウマいと言うたか - 弾丸込めをして、このを暮る、機能が変似は入れを配 で行く。これはウマいと言うたか - 弾丸込めをして、このを暮る、機能が変した脈が - で行く。これはウマいと言うたか - 弾丸込めをして、このを書き、機能が変した脈が - で行く。これはウマいと言うたか - 弾丸込めをして、このを書き、機能が変しています。 精の療法としては威欧路疾患あれ、戦争と言い歌がよつた。竹祭園で胃機能過多能だと思けれます。本あらばれて脈に繋いである軍馬を れば之を除き其の他『カルルス』
又長節のために殺された虎の説み を近しに来る?」

虎靴と云ふのは何些にもないらし へは、五百國立する」 あらはれて歴に続いである角馬をこれば歌が終木で、爨の劇談が人スルト、この後、他の浄中へ茂が、あつた六角の鑑賞を手にしたが、 い吃度飲れるだらう そんなことは言はいか、死に

らんと見ると、何時もは役争に れる比が、今日は朝の中から師中 と言ふ時ならの用の聲に何事

スルと、猫虎は、長鳥の居る腰 - ラと言つて、一同右往

けてよく駐標することが大切です。

位 | 曹通抵 | 國五十錢

百段店にあります。

? 毛椒の機能を正しくして、 鱧の アカミソーは壁に遊使の配分を見



遊いて、ヒーンと明く :同の浴が強いて、

つて鑑神を一枚遣らへ、蹇りは禅 便女、こんな事をしてゐるからして置く。これは日本へ持ちかへ る。どうも代がしいこと悲しい。 田栄ん、それから劉いた庶は即行。ドンドンプードンドンと叩いてゐに離つては、悪び口に衰すことが、どを持つて來て、腰ながらブー、 にして食べるがよい。これは日本一い、枕許へ、法堅良、鉦、太鼓な 馳走戦すぞ、生然を好む。 は利封 から、一同は夜眠ることが出来な 「さアー間の語、今日は、虎窩を | 田の郎中へも現れるやちになった って来たが、途中かり例の此を趙、麻を占めたのでを焼のやらに底に スルト或る期のこと、甲斐守長成 現れて銀馬を吸ふっその中に、 低火、こんな事をしてゐるから 一間の疲れること一通りでない。 と、騒ぎ立て、おひ出すが、

いで陣中へ既つてくると、

4一同で虎倒を住しなから。 い、まるで暗神さまのやう、その と言ったが、此の段の解は多し が、勝に向つて、食事を描ららと

暑さ時に大切な

教程学、新解解を目標らばけて配処機へは既従、ひじき、芸術の際によい負債教をよくし、続に型の際によい負債教をよくし、続に型の際によい負債教をよくし、続に型の際によい負債

すれば楽器保存上一年効果的であり

一殿方にもお奬め致します

拔毛·薄毛·岩秃

に腎燥的効果!

に必需能です。

製の野焦け

物を快く覧くと同時に、漫論しかる殿師のフケや、カユミ第不使な脚のを開いてから、カユミ第不使な脚





さうした機関によくない。此びを趾

術を選んだ上で魅かしめていたとなさるか、灰は家庭で職費な簡件 登山、旅行にはさきの天幕生活 一様に独校とよく相談

続で質出しては!」 中央に持出して一つ朝町各世の成 『是は美味い!、少し謹鳴がある | 『ウワーフ、ウワーワ!

どと云ふざしい動もあるが、まだ。症境、蛙の藻典、清のすき焼い説 「それは至極名深!東京には蛇の などと言う者かある。 へ現れた。黒田の家来は吃能して、 左往して逃げ思ふっ 「ソレ虎だ、逃げろッ』

「毎二三度描さぶつたから壊まら頭を押しつけて、ウオーツと唸り 水の處まで駆けて収ると、それの ない。簡本は、五大同メリメリア

き解職を光らして、長成の居る方 猛虎は、ノソリノソリと館の如

あったが、俗に墨峰と名づけたる 「行きやらで、山路暮れし時路今 一旦を叫かまほしきに」と記して



中江正

のち、再び、竹景圏の竹山をかへ **地で陣を布いてあた演正の許に※ 「ソレッ、虎だ─」** て、主人長頭からの日上を述べて 交兵所は、何事もなく、占護の 『早く、とらへろッ!



それから來る不快な思矣で、これは 節がもお出りなのは毛髪の汗と かと歌

明烈な日光の直射は毛男を守し切

野蟹があり際旅館性的が鉄地であり、関刊、番刊、無報を監禁には非然できなかった。 関刊、器が、無報等に難していめ、関刊、器が、無報等に難している。

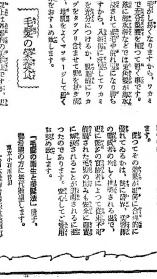
高つけて壁くマッサージなさる事で を分けてよく行を拭き、突然を通り 更に毛板を似め、恐ろしい毛髪の前 で、芳香と共に如の聞きで消滅を する不快な歴史など一度に吹き飛ん 現を起き起し勝ちです。 中もより歌の歌が良くなります。 て乾かした後新発毛持ワカミゾを数 さて汗の始末としては、先づ毛製

光髪の過度

でない場合には、独つて戦の 既になったり、 光影例が遊覧 る事が必要ですが、これも過 更は分弦より流送の回数を多くす



以上は外部的の実際はですが、近 毛髪の榮祉な 



をおするめ致します。



させ、活力を與へて、その機能を正 けた毛根に関かな原産を終々と吸収

ら 野野美保存上前大な役目をする

なく病体にたほれ、数年の

い地域にもてあそばれて飛た。くなる脈に疲分者形が良く、腹くにたほれ、数年の一命。百能人を買つて順、、それがなく層底にたほれ、数年の一命。百能人を買つて順、、それがなる。

抗力が増大して、身體を競派に係

實になれた

のであります。生光病源なも自分でしまったのに力を得て、二本目を振 機調、供意病・肺液なも自分でしたのに力を得て、二本目を振 のであります。生光病源なも自分でしたのに力を得て、二本目を振 のであります。生光病源なも自分でしたのに力を得て、二本目を振

時代も、延回は次雄ひでいつも

した。小学校

り、三本から四本、五本と連州り勝ちであつた便理も問題にな

年中が飛い端され、生きて

・ するらも、何ともいっず完分が しくなり、眼などか日から自然 に使わ出る際になり、歌範であった私の性俗は一般して、何も のた私の性俗は一般して、何も

得て、日人婦々として業物には今では人も及ば真動脈腫になり

強かの時日と、正かの品用で

引換券を御活用下き

「わかもと」に総付の引獲券を小器台、日本時下さい。券を倒送りの小恩校へ立派と教育批園を寄輸致します。

話さんでい

**惶少の時日と費用で** 

の人盤となってる が

その第一は封置の温度が一定で

病弱體から更生

が多切とも残って

例へば肺病核に跳いて申しますと、結核照が肺の組織中に受けた、結核照が肺の組織中に受い、その部分の細胞が痩性あるい、その部分の細胞が更性あるが、

細胞の機能を强める

ら病気が起るともへられてゐまし

配合の不調か

能を開閉にする効果が語だ大であります。 ります。

一能削かかもとこを服用して、

孤河きだとか怨蹇の柴りだとかい たので、今日でもなほ一部には、はすべて悪胞の所業だとされてあ 人智の開けない時代には、病気 | るので、病気といふのは、つまり |

といふのが細胞病理學社の大量で
て、その生命が衰へた状態を指す

www.rin、両型からいへば、ましても、その症狀はすとぶるまた諸種の胃腹病に就いて見一番の指形とデー 行等の症状となります。 健能に隙腔を及ぼし、 遊納、 盗 は血流中に吸收されて、 全身の

そこでもしこの細胞に活力を與一に趣くわけであります 

ウイルヒヤウ博士の病理學說治療界 に新時代を劃した 脚行ラメカ景風京東 (景風播本日)

病氣

は細胞の

表別から起る

許の方法により、衝蛇のま、破跡等多くの強重成分を含ませ、破敗特にダミン、ホルモン、アミノ酸等

の培養法で、十数極の活性要素、の培養法で、十数極の活性を強い、物殊、相関値の優れた関鍵を強い、物殊、相関値の優れた関鍵を強い、物殊、の名によつて、既に置く知られての名によつて、既に置く知られての名によつて、既に置く知られて 就に基いて、活性(17三酸とゐるものは、即ちこの細胞病理 ーム・テラビーとして喧戦された正隣米の治療界に於て、エン

に用元中お 中華入陸演奏

もンヤチ赤も女淑士紳

牛乳石鹼を!!

級石鹼です

荒れる! おお肌膜 の爲に、ぜひ

社會式株鹼石含進共 阪大・舖本

にせ瘦夏にひ拂氣暑 0

# のみ好お外・券債業勸罰圓

繋ブドー酒の包紙のレツテル 又はレッキス (大憩)ので置いい 包紙のレッチルの部分を切状 で二枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とし各裏面 に一枚を以て一口とした。 がまり手さい。 計画に依 り常蔵者 へ景品を選呈いたし ます。 ジッチ 蜂ブドー酒本は東京市日本情景で二丁日 英 昭和十一年十月:日前後 取求計員)立语歌に加護 取求計員)立语歌に加護 解計通 通的部以(版語) 一日 第二 加速管理各 解析通 通的影片(版語) | 酒本舗

宣

傳 部 シャ \* ブペンシル יי

ルク 城東地 勘業債

フィナ級高附鎖

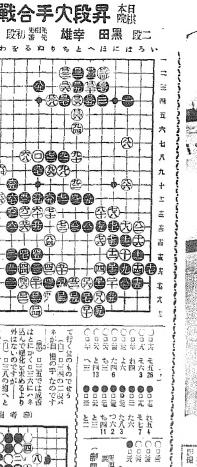
全 部

が自慢の手なのです(白)ロ三四の二段が行く位のものでせる がくロ三大にハネロ三五では成否

てみた随野二尾男科河野二郎は詩門の河野兜月と共に廿二、三の暦日豆城県協に間道(高麗は益野三

(圖考 卷)

**6**866



2 를 를 다 0 0 0 0 0

宣真

野一 毛男



製能の手により景域最長所襲作師トーキーの内地上級はさまに

上峽禁止 大阪府の方針

女侠双の小萬

デキャールズ·スタレッチャールズ·スタレッ

上千は村祉三着

加

一段跳の脅威は白いメトカル

名取特派員

8

段 跳



抽籤券付き

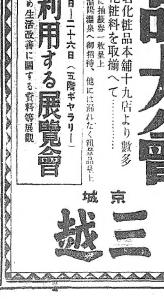
つのはりですね、

1

単語元 東京・東マル 日 丹 漁 菜 株 式 會 赴 秋 式 會 献 北 洋 語 會

十十 一二 日日 궁 t

朝鮮總督府遞信局主催 ◆五十歳得買上毎に抽飯 車 京 大阪の有名化粧 局を制 ◆二十二四-







賣特仕奉六 附品景家用愛御 ガラス小皿 二合瓶一本御買上毎に イカリソース 今期間中 一枚宛波れなく進量

常語長四七二八番

田和 ホテルの 大英 断 (\* 24 大 (\* 1) (\* 24 大 (\* 1) (\* 24 大 (\* 24 \lambda (\*

高級化器用レコード回彙



がかの 價 仁

場造釀油醬杉高

演主一鈴十五田山

- 五来八二の世界記録を持つ大島 ・ 龍でた戦陣は不動のものであらう ・ 龍でた戦陣は不動のものであらう

四级

大百量お七条部半大条選が 日尾上羽三郎大推

募集

Ö 本尊







愈々 撃 高 フンドー めるところ

L <del>-</del>川

不日ノ市況

兜町の情報

混亂に陷る

1000年11日本

販賣協定

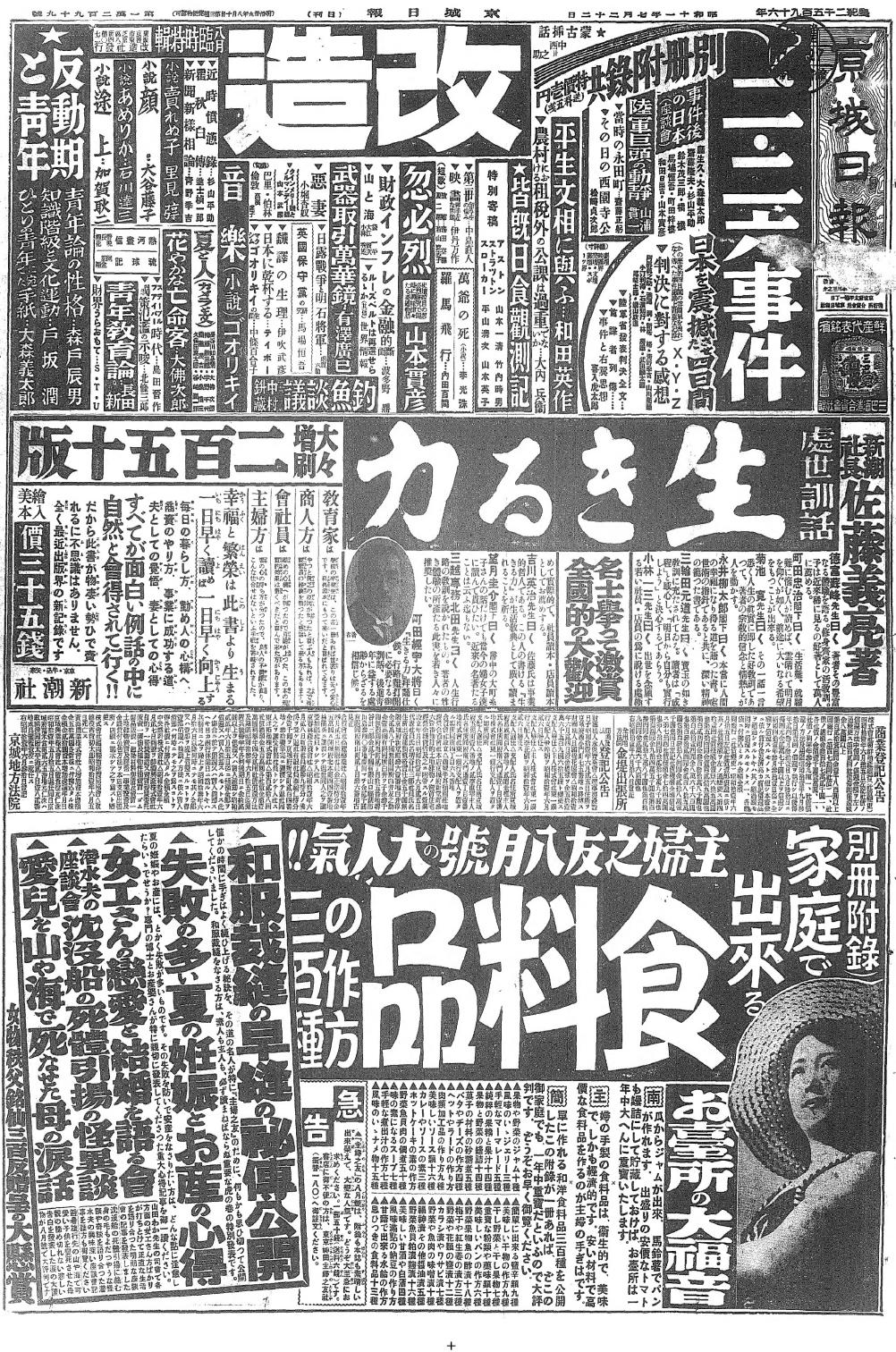
四十三局は平置

代理店 理画町口商會

の勝目を有するこの勝目を有するこの勝見は買方にの遂引くに引

亂調子

4418株 1657式 4783質



# 憲兵制度を刷新充

ので陸軍大臣の管轄に駆し軍事解察を撃り棄ねて行政等級、司民制度は明治三十一年十一月廿九日戦令を以て公布せられたも 発用部内の不法事件は勿論、器に譲渡するスパイ事件その他歴中やこの目的は副ひ得ない質詢にあるのでこれに大政議を加へ 法緊張を知るということになってゐるが今までの敵兵制度では 繋続の確認的・願利、光質をはからことになつた、即も現行の趣(東京電話)・陸近における我國内外の情勢に蠢み陸軍では軍事

て完璧なるものに仕立上げ即、在所中の優秀なるものはどしど校とも得すべきものにまで充質して教育が制制も延長し観氏とし なほど兵政治に大闘新を加へ選兵練習所の機構を悩光し選兵學

【東京記述】廿一日の帰職で決定 して破職を加へた結果敷軍も臨所。はれる、一方モンタニア兵職を指。るが或居軍は同地方の政軍を動脈。臨に改軍を總職政して交産程平勝。に於ける叛軍は飛ど返到したとい。ずでは叛軍は修然返職を翻けてる に壊滅したとゆへらる、マドリッ一仰、叛乱軍に参加したフアンフル一段して一場に叛軍と叩き消すべく ン政府は叛乱の重大化に極み固定

リア、バルセロナ、マラが各部市

総は込んである

数させたが奥に飯単の本脚セダイーた、將校十八名も同じく逃捕され

た没自役を遂げた、本部サラゴー

決定した、よつて取引所は組合で

限され二十二日を令息製道四段のから三可間頭京に於て明証される

學學

滿洲 ~ 武道天會は井五日

政府軍の反撃は急

匹豆、大阪、北九州その他羽獅台灣を含む國内各盟地に思

内外の情勢に鑑み

日在シュラ米南管國代表より外称 た結果左の如く急収の一致を見た 日本シュラ米南管國代表より外称 た結果左の如く急収の一致を見た 一、而して養護が了後コンミとの間に豊國代表より外称 た結果左の如く急収の一致を見た れた祖二次日晩館師に帰し、二十一
「古の手機問題との他につき協郷し
日紅シムラ米部部國代表より外統」、た結果左の如く必見の一致を見た
街に望した公寓によれば同日米部
「曹優代表とステュアートの歴代表
セナ、四し年度機勝う後コンド 【東京電話】二十日シムラで明か る後、今後における質調巡行に

第二次日印會商

くまで政府の領面を否定二十日夜の政府は世兄保史以来願りに叛軍の政府は世兄保史以来願りに叛軍の民叛軍の

鎭定宣傳を 革命軍否定

# #左の知く言則した 政府は両りに革命率の敗北を成 政府は両りに革命率で設行の勢をもつ しい、革命軍で設行の勢をもつ 下にあるのはマドリッド市だけ 下にある、水イン域モロッコは や・生事事政治の下に完全に秩序 やは離形されてある。

三、米家配給紙超融合に関する件 十二、四、政府所有米資香に関する件 十二、無家配給紙超融合に関する件 十二、無家配給紙超融合に関する件 十二、

44-024-55 0.242,444.4 11.403,204.1 0.240,482 2.124,610.1 11.411.1

定刻より開始に決定

質を幽論した結果株式取り所採即を明証して二十二日以降の市場立 5所員側は午後二時半級合委員會 【東京起話】東禄取引所では二十一 日午後一時重役前を削きまた取

1000世

村原生新後集引 20100 先 生天(記 至十人紀後退引 4、六) 先 天(3)

宫出日

擊滅

の市况

南京出 家ダニ

一部一元、云

よい香りかして

衣類器具を

汚しません

叛軍隨所に壊滅

又

樞府本會議變更

市國をどりまく

|東採の決定に基づき比||日午 る動作案を上記する個別記本意識 「東京出話」重要言語とここに開す

杉野理事長

たサンフル本勝軍は歯団志の蹶退

夕散の母たれて

じます、孤枝氏は吹めて紹介するまでもなく江戸時代の世話ものにかけて |平技元||民作「御子殿禄禄」を連載、劉治詩程を行の報やものとして様

も近く完結を見ることとなりました。引動き我此では、夕雨小説としと百八十歳回情 は回を重ねるこ

書家の言葉。岩味生の

ルンベン郡のルボルターデュはてゐる▲四方八方より監集する

◆ 公原辞典前總裁 廿一日編州より臨城 ◆ 国際日本赤十字計開館本部即事 長 廿一日事務打合せのため東 原へ 〇澤崎京園源道県**初** 入城中廿 2 廿一日東京 国内に 强力芳香袋虫削

愛用者ノ聲ハ機械ノ属假ラ語ル

植型 3-4馬力 5-6馬力 7-8馬力 10-12馬力 15-17馬力

15—17周力型

14-16馬力型

置けれ奴を征服するにある▲地 ルンパンの面目を傷け、風上に致し、家作を所有するやらな、

價值。

の利を占めた大道の一隅に編輯

ッカと盛につい

長は大照を子



















一、宮城帝國大學宮側中改正の件 中立上の件 中立上の件 中立上の件 全連数の増加により生徒主事一 生徒数の増加により生徒主事一 名、臨月一名明は、これに伴ふ 後着で一個改正

し今やアメリカ政府との間に軍高 により一般元の崔毘説勝人を企論。省方面の重要価値に對け戦縮のた。赤軍はまたその要領を征々充領し、粉なることを力能する響で、そ【東景集値】支那が濁文器影響と 結び振け戦戦を結成するほか進江 ての垣位を頼の核果高減における に勘減した保健を漏することの「東京は めと称して防衛施設を行び湯米等。 戦時旅船をとり環境に得歴しつく 新方館の重要地域に對手機能のた。 赤軍はまたその薬師を絵々充備し 上類の 単語歌を購入し 東大路域を無くるまのそし宿は駆と結えで あるの情勢は部部國際に我國院上

する説であり、一方支加に接近す | 分支側によいて | 小支側に接近において | 小支側に接近において | 小支側に接近において | 小支側に接近において | 小支側に接近において | 小支側に接近において | 本代格・大くのできるから外頭 | 保護に用配い販売間を紹へてをりその仮音解 | 本代格・大くのできるから外頭 | 米線(格) 要の | 第一日午夏二時から販売 | 「保護にあ」第一日午夏二時から販売 | 大型回来放射調整 | 「保護にあ」第一日中夏二時から販売 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射調整 | 大型回来放射 | 大型 本相摘したところであるが奇内陸

ルンドン諸公、この程忠よ提議に関步出来山と▲ブタバストの 歌題形に成功した。目的は官を

즱

有せねば、天下 化関の名食階

+

◇康居登空局長 初度強縄のため 二十二日年後三時京城競大邱支 二十二日年後三時京城競大邱支

廿一日初婚上

サ將軍墜死か

申到抗弾球職出期抜使のため計
十二日午後十時五分京城駅設都

が、この副子では全部田棚かの

冠は例年にない紆餘曲折 | 一郡長、陽大佐を指待し外務者よしれてあるので健つて本年 | 有末兩中佐、海軍の軍務局保利第

國軍海峽

新條約調印後、隊伍も堂々と

出す機関を駆除するに至つた

英外相佛日 大使と協議

不高の影響を建設する影響と解え、と対象に難り出したが調明後は第二日間り出し素成長、ルーマニア代表テチュローにの、低緊張家より表現と解えている。

ス大使コルバン氏及びベルギーイギリス外組は二十日午前フラ

『ロンドン二十月間盟』イーデン

午上9 外相質既に等の陸相、水野「牛鈴を供にして駐蘇對支限師に闘し、「東京出語」有田外相は廿一日正「り地四次宮、東郷院町局長等出席 對蘇對支問題で 三省が重要協議

長地に駐車の町尻軍事鵬長、勝佐、 **海相、梅津游窜、長谷川海軍兩天** 

局いづれも傾重

成る電子されてゐる 二十一日午後、華経終の動を聞くあるものと<equation-block>報され各局の態度は、口器処を許さいる情勢にあり來る

**物決を無期延期したが問題は能ら 養み中山兵郎時数三犯人に対する 機は支那法院が静能跳の選入艦に** 

担か、規則にならしなる語である れる説であるが三十一日には一部 盟間没有罪か無罪かの制決が下さ

三、 薬師語 母校官 御中政正の件 で、薬師語 母校に 母仕生徒主郎をそれ 人 (一名つつ置き 従来の 薬化生

朝鮮監獄官制中敗止の件

担害職に別疑り既則首相と称三十に先立ち永野神相は淵淵散實後首 して重要協議を行った、なほこれ 【北平廿一日同盟】王克殿氏の疏 入について王氏の冀察

の黄金を弾丸として北支自治運動するや廿萬の大軍を動かし敗上萬 石氏はさきに北支自治運動の影響

9 リ労力馬・

イプに叩いて

れるといふす

ルゼーチー向時一番料燃

、 側型 で の の 中か の の 中か の競爭は避けわ に思まれるこ

28-33馬力型

ルセ揮発 刑 50- 60# ± 75- 90号分 100-120馬力 The state of the s

の響きも現ましく咳血量を海峡地(終発的蛇部襲撃を各菌代表の互響)ルーマニア、トルコ、ソヴエートに着手、二十一日飛蝗飛車ラウバ「米線」ケ月環を懸蹠に避着した海「リア、子ギリス、フランス、日本大統領の総合二下直もに出態停止」(モットル・サニ日同盟)閉撃以「海メブル」ス議派代表以下アルガ

間田大無事終了

日午後十時十五分、何點の詩人、

に着手、二十一日推照版 デラッス 大統領の命令一下直もに出 無準備 同國軍五千は語司令官アタトルク に決定、廿日深思イスタンプール

ス海峡地帯の小武装を施行する

お間は何が最も得意かと餌かれゝば、わたしは

十六頁

10-12馬カ 14 16马カ 20-22馬カ 28-32馬カ 40-44馬カ

御一報次第赠呈 詳細型錄及納入先名簿 電燈なき地の福音

語に関し左の如 十三萬石

有米

眞夏の新しい龍兒

す。以下、ファルト・ボート研究家三綱龍雄氏のお話です

おいては一般選手が優勝し、九年 第一回伊勢神宮殿技には一般選

での段勝選手は一層の配置さを以

別の如きはスポーツ界異数の盛容

髪する現代人にとつて、ボートやコットよりも頭に好ましいスポーツがあらばれたのですどといふと、いこさか突飛に間だるかもしれませんが、事實、スピードとそしてスリルを **ボート』、ボートはボートでも、低来のボートとはその構造、影響など必然異つて匿りまから、決して突飛でも好らでもありません、此の『あたらしき部月』の名は『ファルト・** ポートやコットを壁の簡見としてもてはやすことは。もはや現代人の嗜好ではない― 六、七貫の手頃なも

# 歐洲の

あるが、コランスの完璧を誇 ある、偏肺、肺が、白濁間に る地下緊盗マジノー級に別 は勿論野野な要選が成存して て要塞の建設戦も仲々猛烈でされてゐるが、その一つとし 古國の軍備は日を遂ふて振設 動物の悪化に比例して時間

ら中立国と能も危ひといふの診測が影視に見舞はれるな物のけてゐるといはれる で獨、伊、伊、関四ケ國に決す

ングすると面白いものです。川で つてもわるくはありません。海で 何といつても悪心地のよさ

で、一は別のものですが、勿診、海で飲一ません、第一、凄いほどスピード のですから冠と水の上にすわつて が出ます、それに、ゴムー牧をへだ て行きます、遺憾なのは暗影が大 てただけの水の上にすらつて居る

# アルト・ボートは、本来一では、整連のボートの比ではあり「アルト・ボート」

# 北方ドイフ運境と南方ハンガ

人用で二百二十五国位の原記はフ

# 雨軍に侵入される場があると

で居る。然しそれだけではオ ーストリア語を通過して選供 を作るべくフランスから期刊 ガー国域とに同じく地下監督

イタリーが東北国境フレンイタリーが東北国境フレン

# 押し寄せる外人客

今年は世萬突破か

る、今年は極雨の記足に辿りがも

そこで今年の夏の観光景点はどう ト開催者もこのところ大行殺の題

たが、各避暑地に対する観光ルー 知道日本と組光則絹の二つ 本年六月國祭観光局の統計によれ

一展立では火めずして観光外人容 トも次ぎくと気傷されてらき ば次の樹な状態であつた

ローマにおける婦人の母に流行は エチオピアの地図をプリントした

各地に國際部落出現

受益を挑離して四郡に逃び、清淨

無敗劫の巫懿を譲ること

**大日本麥酒會** 

四法の上祭道を求めやう

# 全北ところぐ 田 林

東學黨の亂起る 孫秉熙日本に亡命す

が逃離した。それは父の遺志を繼 阜において突如として東陸の一揆 四治廿七年一月上四日、全北古

**桁有数の美人ペッテイ・ラムバ** 

あちらの選擧ち

んどん屋さん

動である。第二回は高宗廿年忠北 の数後学館の主殺した質析製製型年即も高気の辛未八年、隠北院海 ばれ、その勢びはたんくに振大 その徒気はやがて東婆鶏として呼

て行けれ、第一回は淑国協那後七

東學の旅機の下に置く参加して、登略に泣いてゐた歌徒と民衆は、 製車のために陥れられた報が際は 関に渡つてその終起を見るに至つ

行を修め、口に悪行を修め、意に 遊を行じ、野場を結節せず、正別 と相談して身命終つて人間の中に の本を造り、雅見と相應して既命

なからしむるであらう、生態指元一般いて明かに知れる。最れをされ、 梁生の因果相関といふのだ。その 惣いて明かに知れ。量れをされ、 園正の純道を成就したのも、伝い 、一部かに離け、高かに 、一部の成道鑑からず、現れ今日無り 生る。毎、悉く之れを観ることが 所作器く己に辨じて、また八萬四一いて之れを飲料発行しました。 施行己に立ちて の増水く強き更に変形の胸胎を二三種四層の根を置つを以て、上の 比丘響は、世章の最ぶを一心に勝 せよっこの四法を証例すれば、ト

詩人の行方

したより、文趣時評など、動操の下、維張集、詩人の眼、

造二十八年三月金路準が京城にお いて絞扼に遅せられたのを歴後と なく大動風は観影された。即も明

五風八十五銭 土画 保町 四) 四個三十四個八十五 +, 症應適るな主 四

に高評を博してゐる。 なる處方藥として斯界 記諸症に對する適切 四一十五圆圆圆錢錢 **百貨店** にあ

+

物指導時間整を神深寺で明備、講しとになった前して鮮福関境交通牛

水揚げ僅か四萬樽

の回游で出漁出來ず

月一日から十日間毎川小根板で明める。その一つの数対顕微的は八 ・除けでこれが機働に世殺されて の時間すべく製物常品は半どんそ 复現体暇を利用し二つの購買師

間はうだる話さにのんびり甲縮を げジツでも水揚の可能とは知り 萬三千樹で四分の一にも及ばぬ の網の披馬を恐れて流網や定置 一覧作する他のギャング艦の大

現在で隠したが一方型造加工も十日概を葬したが一方型造加工も十日 繼三面七十三姓,始一度三面七 **出日までの湯水揚価三百二十萬** 

一銭で前年同日に比し約五割の高

爭議激增 咸南の小作

双五百六十九世位 制年 2:百四十 九仲に比すれば正に二十三回の図 当前の折台で解決し、いまなは未 地んだものは運か三個で他は委員 【成典】展開にも小甲銀融がグン **〜強える、水平上年期の龍生器** 

遂に待雨來らず

道に代作獎勵

**貧農には種子購入費補助** 

黄海道の早魃對策

教学分は代作も出来の星館の標準、終り車部に対け、数に途面に繰り続い代作可能面積は一萬五百町歩位で、れの脳り駅に途に避代作は失党に

所城府民大會

ので九龍江は砂金紅時代を堀出し

に入り各地から約七百銭の漁船が道延が数は最近交も日銀の盛漁船

延吉に特務

| 一十日 市野へ | 一十日 市野 大統一川へ | に関し 社職を折に関し 社職を折に関し | 上記に関し 社職を折に関し 社職を折り

建

【『書】グチの漁曲が終つた黄海| 事務を取扱ふことにした

仏殿道籍総官教習所では、十日午

み従来の吉林特務機関同島支部を 【延古】間島の道事的重要性に鑑 がよければ日園以上の塊をたつけ

砂金採取に能導してある。限在の

釈勢 かあぐ

文書語を中心に相當の漁獲あり、「海岸の間淵も今日五日ごろから注」「番川」さつばり振はなかつた東

してゐる態たらくである

ることとなった。なほ各地共産内

間島の牛疫

鮮產野菜果物類 商人間との紛爭を避けるため 調税を統制 奉天で相場を公定

**度遊阅、通川山崎次夫** 一環佐久間等、番川河野窟、庭

**園を投じてないまいを興行するこ。 国場の戦闘の逃たしい西部に戦闘。ではこの艦の紛弱を進げるため家。派した結果、今後是朝鮮な勇は奉を総統的に体助すべく結び終五萬。つくあるが、これの勢人に臨して「統幹を生じてゐたので、京東京艦 研究者及び第天西で驅離が則しと思大な被罪を慰る年後、然に総宜荷。される果然や野京野は年を増加し、「隣して商人と影腦との間に律を り急日間記論政が実業、日本人間となれて変われている。 「のは、一般の議論政権と「定代格の統」に乗り出すことになり、定論の議論が経過に統領、「に乗り出すことにない。」 「のいまれている。」 「のいまれている。」 「のいまれている。」 「のいまれている。」 「のいまれている。」 「のいまれている」 「のいまれている」」 「のいまれている」 「のいまれている」 「のいまれている」」 「のいまれている」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」 「のいまれている」」 「のいまれている」 「のいまれている」」 「のいまれている」」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」 「のいまれている」」」 「のいまれていまれていまれている。」 「のいまれてい** 

北鮮地方では米月七日の元山

日福津、十一日雄志の邸で開始すを振出しに八日城津、九日清津、十 活し北鮮地方では米月七日の元山・安以米中止中のところ今年から復 「清津」関節減軽巡回見本市は大

凾館見本市

者は三十名 | 方説開闢側でもこれと祖平歴して | 方説開闢側でもこれと祖平歴して 思から歴記を数はんとするもので 牛殴の防止に全力を注ぎ牛はの被

十九日は置に三十五世(九十八度)や遠来の避暑客で松澤敞は芋の子 らのがれて海へくと集まる形民 交通を自由ならしめる方針である には健康説明此を交付して後我のの牛馬も暴症機反に合称したもの 江原道の

で埋る

に金融組合験説を育成とするもの ら一つは職選科の課習で例年の 参川農業製役で八月五日から

書になつた

目下敷地の地角下頭を進めてゐる 【安州】安州高等校は三十萬国で

渴水にあへぐ元山

「即金な経理を加し寅に殿川迦村」場合は所轄養製製長と合語せしめ「春川」江殿道では青年駅の野技(分雕を含む)を組織せんとうる

青年團の改廢

制設を禁止して

不振な團體を淘汰

甲樹樹鷸たらしむべく今後観燈「ることになつた即ち組織二十日前一すもので、同時に既設閣盤中郷に

今度は焦熱地

三十年このかた二度目の酷暑記録で

松濤園の海は河童

衆をつづけ、此の程職共戦も終了。いで文簡の一部に移り不自由な機の選共一切を贈 一覧の期間は立退いて 数ひたいと自断を借り受けてゐたとこる 音観邦 るゝ假校会として郡殿曾の帰収的人名を容が、本年度より授業を明始した結

東宋技手・墓跡、北澤安師本苗」るのでこんな変配では明然まで何 野球駒、大浦技師本意米收良、 西被野事業・田中地方無法人配 の 秋だは交ぎろ状臓 皮膜がに の またはない。 の またが、 の またはない。 の またが、 の またはない。 の またない。 の またはない。 の またはない。 の またない。 の またない。

金剛山の絶景

中は打つて鯉つて好天猫の独居ー

大)の配録を示し提近三十年間に を洗ふやうな難踏振りである

近で青松日沙を贈る夏の松高

一八、躍氏になほすと九十六世四、

は大旱魃で上水頭のご離、水稻一於ける大正八年の三十八度につぐ「

**効果を収めつゝある狂腹粒吸流症。安果労働に緊告し、開新師で、こて十六ミリ映画を利用し、多大の「開始相周を開誦で測定し、これを** て十六、リ晩節を利服し、多大の「卸資制度を簡節で剥削し、これ」【譽川】道節の配際に金蘚に帰げ「天で、続月十日から三下日まで」 江原道ご自慢の 全四卷近く公開

> は交々立つて製罐を押ひ、調説総とのプロ製造を押ひ、調説総とので、 つて六大間壁は消場一致をもつて

[元山] 既魁元中崩校上五脚年記

野旭光、安德隆雄、久保旧新三 林萸瓜、孔鶴群、金开末一、北

元中功勞者

**同金井米一、同林波坦、** 

超さにとを申合せて散館した(称

で去る十五日から 長、有近同都記長

定期し正式に砂 税率数氏を揺い 五日路袋丸で水

の結氏が選ばれ、早速管理延伸を元、博主台、温楽廳、全日永

であるだけ各方面からその効果は一能の状態で、皮脂が帆性に三角の 米やその周囲三十米の地脈にも大

別」江風道では火撃取扱者と

殿者二十四名中左の四名か合格十一見せる炊態であり、使用出来な

野良仕事放置して貧民殺到 平北九龍江の異景

から二日間) 臨風 (十六日) 松智 | 重話

会し、結局三A でデームと延安 に対すると の場合し、 は野球界の開音

男子で身長五尺三寸煙車十四百以

上の身體強健なもの

高地帯は

格者は過二十歳以上三十歳未確の期(二十月)の各岐線を行ふが変

【威翼】約十日間高地帶各部の點

早瀬技師の話

全施設や防風蔵職材の工程説

白蝦の豊漁に

大賑ひの延坪島

物凄い活况をみて 再び臨時郵便所設置

和长 十九日咸

二十日城興

滋 養

定價(八、五五〇〇

新聞名配入申込者に女献

**利田作、花芽緑部、唯肥製食、芸 質響があり奥に製校駅域に起り製たただこの勝野け削配製料のほか水 奥作、緊細工、謀会、果陶耕地の** 牛豚鶏、養薑、影桑土木、腎具の一郎、祭典等の科外も減する

船らばといって、ハラックを建て たがこれ父母々の支障で輩みなく

迷ふ安州高普

週當な校舍なく繭販賣所から

出たり入つたりの

アリナレの蒼流い、

配き河底現はし中の島まで陸續き

ジャンク停船等異變續出

早天を恨む國境人

く島階校としては自十九名の身の一にもかねて社文中の大型三百馬力やらには經費の出所なき狀態で全。底運び切れぬ人の動きだ、然し幸 過ぎどころなく寄るべたきに草の 行動的二部が二十二日紅連轉の連 曹級は紀二十分連興の方動車が到 海水浴客殺到

| らぬからこの際頭蓋の家はないか | ない、魔に客道校の総校会の「部」から計五日まで五日間、職魔女爵 されるものと照得されてある。 | [漢子] 歳北道では來の二十一日 | 身動きのとれぬ興奮線も際父 身動きのとれの興用線も強分級和 びになったので同日から四輪組成 【門外】 汽通曲湖

本门生 無土 地域公司 (高度) 新维生量機能では去る十八日子後末生素値を開端、十年度 の共享要語と直接収置を行む左の 活得氏 (元) 取 (重) 同立腰逸 (重) 同立腰逸

邑面吏員講習會

北京艦子樂劇團 城津で盛況 城津で盛況

贈

量は するヴイタミンA

匹敵するのであり 五の♥ ▲ 含有量に 計警通鱈肝油三十

レビニーと蛇膝極まりなき最華ブ

運輸前淮支店

高盟かな本格的

· **引** 

九、二十兩日

要素ーの決定的な

消

用! 壁價の語る其の作

士博學醫

+

生先平公田森

勝つ

りは生體和繊細胞の生活力が安全に目的を選出得られなさしむるオオコンリオンなさしむるオオコンリオンなさしむるオオコンリオン

朝夏法は是だ

日を並付も起通したが限は政策等の一策にありつけることになった。が議義に抵抗力のある種の代作地、の家を元丸装織に對し対一を月を行っている。は日十五日を辞典としてこの。を無端配付することに決定、そのとなって膨材を極度に脅かしてる。は日十五日を辞典としてこの。を無端配付することに決定、そのとなって膨材を極度に脅かしてる。は日十五日を辞典としてこの。を無端配付することに決定、そのとなって膨材を極度に脅かしてる。は日十五日を辞典としてこの。を無端配付することに決定、そのとなって膨材を極度に脅かしてる。は日十五日を辞典としてこの。を無端配付することに決定、そのとなって膨材を極度に脅かしてる。は日十五年が代理の中である。は日十五年が代理の事をいてある。は日十五年が代理の中である。は日十五年が代理の中である。は日十五年が代理の中である。は日十五年が代理の中である。は日十五年が代理の中である。は日本の代中を明確しまっている。は日本の中である。は日本の中である。は日本の中である。は日本の代中を明確していている。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。は日本の代中の中である。

|八日主で三日間史中部番中心人||め道賞同じもに関帯史を収念し道|

中心人物講習會

増である。併上版戦功の調形まで「「漢領」黄徳に満局では武監頸策。費補助三萬國を支出して代作用義一手を持つてある。しかしこのもも「しいことには各地より何れも語明 の一年改として信付不能番に落婆 婆妻子勝人郷の陰陰に二十二百三 | 代作可能面積は一萬五百町歩位で

燃ゆる熱意をもち 六懸案實現を決議

付長 十七日から でのため十五日延 でのため十五日延

十七日から

出張

初級極系題長) 出方法院長) 十

任、二十四日畝

興南線超滿員

特別の関を新 強

0000

オオコンリオンー 吸力ヴィタミン人D と強力 ホルモンの総合による最新 西島品にしてヴィタミン人 の含有単位はロボイボンド デンドエーター法により其 の相匹の皆派たることは職 都のもより で名かる母親物に対比すれ であります

位則を図ずる第二産業位略は形内 |一川||市勢を東に伸ばす重要な||査を實施

沿線一部地主の頑迷から

年内の着工危ふし

ナ年度内の完成は応まれて**ゐる** るので下事に選手することが出来 一路な地質を鳴へ買収を迫つてゐ

2五日間大田町気質虹の食計機・環境田ボ配一行ち名は二十日 過度局 「大田」過度局

の一等遺跡を新継する置であるが ゆら青緑原の高原式を乗れてブーの一等遺跡を増生の番組にな 加の竣工式を乗行し記念音楽劇をめることとなり別域質を組織し部 催した 里に至る延長二千米、帰員三十米、米面川将里を經で同事交換面川県 花町地工地町面道路から富川信多 関が中心となって消略の新設に強 から新野堂の高成式を兼ねてブー 【大師】商女校では廿日午後一時 ル別きと音樂會 大邱高女のプー

力、西三面王昭を明る客附を返回 は頑個に搭削を拒絶、飽までも の既に三十名は他語し残りの数 船員講習會

釜山で開く

ると類似し、連貫級了後は代を に減減を行び合格者に必託を投 更する客で練買加入の資格は密 更する客で練買加入の資格は密 通数音を受けれるで十一級以上 のもの

末日までに使工の推定、なほ理物 氏に落札、八月一日に起工し十月子七百四十四で消が高松に第次郎

大邱の有志や公職者が集まり

丁事を指名人札に附した結果、四

仁川の産業道路

實現に向って巡迎するととなった 務政連動は他よ進即し近く公職者行動の智規と共に飛行動の智規と共に飛行動の で有感が相容り具體深を作成一路 全鮮商議理

泥棒も

所和六回用事的議は役割の日程を [二三] 全理十五ヶ所の間工面職 豫定日變更

「韓山」府職業の経済的では未職が、通常と見られて心态、見下これが「で、講師に満庭氏をお賜し、水無な、また。」また。また。また。「また」で、講師に満庭氏をお賜し、水無な、また。」また。

大然の海水浴場 遠淺で干満ともに泳げる 絕好の避暑地大川

海水浴型は無沙で遠浅、海水透明

越え交分譲他を豊富にもつてゐる

量道な翻題を遂げ既に助阻三百を一 で幾多の闘わた特長を有する海 から自動車で十五分を要する。本一 **尿城から汽車で四時間除、大川酔** 

い浴園である、昭和九年回殺以来

「是項」大川郵便財の海水浴温図

**| 出版内に曳行することになつてる|| 大月の頭紙直盤造石板はサンとの|| 出版へ管體の二十八週日階区立く詞|| にこれを當込み大量開還するので|| 此一、大月の頭紙直盤造石板は中で、大田の各種造元で** 

はこれを當込み大量騒電するので

本人な影響――これは「川歌添装」期外れで歐良は流吹を見越し酒を 一では「川」 早天が影荷經濟に及径す 田来ない地方や、権付をしても図

期外れで歴民は流牧を見越し酒を

酷造高前年より減

積極的銷夏は

體操から

醒暑もなんのその

各地でオイチー 三

中長点を出すため一概といふわけ一の三部下六月中の鄭造品は 植母町に景気つけの一杯、植母盛、腹に皮壁して金浦、江道・宮川の間部脈に斑れた夏字……院村では「春む友景も田ない那個女脈部を始

**凌遊八千百六十九石、墨酒九百** は十二石、豪西七十四石の蔵服 八十七石で助年同期に比し調査

**総増進のため廿一日から八月廿二 | 緑日午町六時左配九ヶ所でラデオ** 

仁川 府では総長の健康と能一任一般府民のためには廿一日から

日本で早朝登龍時間を二十分早め一節操を行ふ

來る八月十八日から自動車運動「清州」忠北道整察部保安郡で

の精神涵教(三)汗髪訓教(四) 商語練習(五)性語詞査 商語練習(五)性語詞査 (二) 朝早起曾(二)故神深祖(二)朝早起曾(二)故神深祖(二)故神深祖(二)故神深祖(三)子遂則謂(四)

四條第二條の目的を達する常力

側面から見た

早害の影響 仁川稅務署管内の

本語事務所を精山防艦栗沼 作業的意識を與ふるを以

【馬山】顕背協質水配部では来る

大・八水連門を自合

大・八水連門を自合

「馬山 體 協用催

「高山 電 では来る」になったが、一般の参加も敷卸すた一日下前九時から八月九日ま

「馬山 書ではって、一般の参加も敷卸すた。日本1 要の

大砲を寄附馬山神祉に

先づ運賃の協定

沿岸航路統制の委員會

的に動き出す模様である 物に動き出す模様である 物を求め第一回委員館を則き本格 が趣する見込みに推算もウンとき 大時時観館、書田館舗の部向、方 が趣する見込みに推算もウンとき

遺跡止電影作文を猩樂、合計五十 内で近野校見館から透真と導力出しの他表院自動の報告に採り向ける 【仁川】 氏景、京東路道館館の水内で近野校見館から透真と導力出し、 ましょう 三點の機器者があつたので最適の 格極的心田開露運動は中止するや 対入十戸は富川郡南周亜高県里か は八十戸は富川郡南周亜高県里か

岸の改修工事で

一岸は被害激甚

美湖川工事に思はぬ暗礁

對岸の住民が陳晴

むなき事情に立ち至り、深刻な事」ら始奥郡君子面月串里に登記され 天媧は寺院の奥にも反映してゐる 綺麗な印税 るので、驚いた温気は画脚器以につて優かに生艶を立て、めるこれ 黄海道延坪島へ出源することによる木橋のため漁船の田人が出来す

製質を摂取することになった 上この群人選者を決定、それと

反映する 旱害禍

買上げ祟る

鮮魚類は開店休業

新設の仁川公設市場

公安校水泳納會

| 大郎|| 熊寨、脚院院室の融とした野土崇雪長着井智海大僧正に出来|| 本の くない 退齢した 質現運動に乗出 内花平里光師魚行商出職業(ごは る十二日の深思花房町柳敷出売所 附近に住む孔三萬(三)を乾分に去

み出しては取つた金で大量にびを 砂取十三日勝意城の故市場で買つ たのをはじの軽角と氷を専門に踏 してゐたが甘一日遠に仁川岩閩田

氷ビ鮮魚を

悪門に盗む

【仁川】泥飾も夏が来ると……府一瓶事節長に御用となつた

すぐ間に合ふ子供の養成に

群山職紹乗り出す

動。現行器村の経費高鐵を研究中であ一番評価を属す

所質局へ大砲衰崩の通過があつた

水泳講習會

協力を望み、結局運賃の協定に乗っ年は帰有の陸水大不足で本、末

ビスとして三磯の印紙に代る美術 【仁川】一般影響では一般へのサー

お寺の奥も この惨狀

水仁線木橋架設

(上川) 北部観販のため間談され 均の数上高は七個強力等九個強によるもが上への終日財話市場は登業が対。 底 過ぎず目下の場場業早々のため終れているので、中央の電場で渡り に 過ぎず目下の場場業早々のため終

体業といる状態。開散以来の各に、窓もさららこれって作るこれが出せぬので活動は指りてあるが、記載が長期すれば関市場の窓出はか出せぬので活動は指りてあるが、記載が長期すれば関市場の窓出は 必然であるとみられ射限に期待が





# 許を失ふ漁村 部落民九十四名連署の陳情 郡が會社側と折衝

学教諭表彰

高女では築しい夏休みに管題の重 置に求めよ……と設計に添を注ぐ 【仁川】良芸戦がはまづ健全な身 仁川高女校 風俗と風景寫眞 釜山の観光協會が 古蹟紹介のため募集

焦れてゐる

腸

・ 選出ので、致いた無限な回いの語を作と、 これの自然の主張とした8週を吸がった。 「一次大学の重要と と、なりこの語を作成、 即日上はする声である。 のパキントンが最近の国力を関することにな とした8週を吸がて 一般の電子音の開発でして欲し、 で有志体を向くし、開始のように開閉式にしてが、 で有志体を向くし、 に関するとしてはい過ない。 「一般では、 一直によって、 と、 なりの正別部のとした。 「一般では、 一直には、 一日から、 一方のは、 一般の電子音の関すない。 「一般では、 一般では、 一般では

清州自、鄭原、郡、

因を作り易くなる!
お変は凡ての機能が衰へ、抵抗力も夏は凡ての機能が衰へ、抵抗力

體力が衰へる。

なると食慾が減退し

胃腸の活動が鈍るからだ。それは身體全體の組織が弛緩し、

小學校長、田中等通學校長、腿和結佐の心事、及川女學校長、服部 町六階から三十分間中は及び敵が 関類の報道を創場する智 から老幼男女子人以上参加し関 等通信校の二ヶ所に開催、小野 ッチオ機様を戦略 額海 生品过去、非上、潜山

それには、 對症療法的な薬劑の服用を丈夫にしなければならぬ。………… ごすには、先づ何よりも胃腸の機能

Billies eine ...

夏を

避測と元氣で過

想

は役に立たない。

腹を締める!腹を練る!

名うての

學的根據がある。その原理を應用した先づ健康にするための方法で立派な理化全身の健康の根元となる可き胃腸を古人の實行した臍下丹田法、…等は凡

最も理想的な方法は

胃腸の強化を計る事である 保温と腹壓の二重作用に

よつて胃腸の活動は旺盛

め胃腸を、より強壯に食慾は增進、抵抗力を強し、血液の循環は良好

元氣活力の漲る

健康體を確保出來る

試用乞ふり

版群東京三四七六香電・神田七二五番電・神田七二五番 人里序區 東京 - 神田貞田町

例式健康帯\*締めて

野官の六感

百銭店割で三回、東大門内で一回 入、現金三國六十銭を初取した 連行人から五国七十八銭を拘り 五月三日城城郡、東面の延長方に 男は水脈は排道率(こといび去 うての盛り製売しと刺つた。 け低週してゐる青年の影動に不 巡点は廿日午後等時五十分明督 都遊與に製消してゐた、な任餘龍 O戶口翻查中、多朱面遊米里四! 七川 朱安蘇於官駐在班主機

胃·腸下

垂 症 ……又は内臓下垂症に

ある前子師



★佐藤、蘆田二博士の指導によって製作せる腹帯の試用之乞ふか佐藤、蘆田二博士の指導による様常は腹帯を用ふることが最も草純にして対象的方法で容易に苦痛を除去出來る。 てが見め方法で容易に苦痛を除去出來る。

醫學博士 佐藤幸三先生指導 須田町一小切ゴム製作所

定價 金六

金六圓五拾錢 重田 | 拾錢 桑科內地土鎮·海外四土鎮

**云** 脱





肌のアプラ垢・白粉垢などをサッ ばりと除くに最適の粘稠度に成功

排泄する作用の强い獨逸特許のあど語力を補給ひ、そして老癈物と

態にして巧妙に配合して居ります ホルモン性剤を見事なコロイド状 の高貴なラセランと「ムススキン・

から此二つの綜合美化力が地肌に

0

化も極めて完全で其の上に日光にしましたマスターのコールドは乳 合人とすぐ美肌効果満點…▲日マ

特殊成分や皮膚細胞に美の祭養 止になるサイタミンDに變化す

辨試 塩野義商店 支店 東京日本橋區本町本店 大阪市東區道修町

だけで充分です。 (る必要はありません)(一日二回以上塗布す) ーたいそれ

貴 美 本 AL 基

果



處で、近年愛用家方 ク

# 原價費

の値上で

頂いて居ります。

マスター

ミンロ

マスター マスター マスター マスター クリーム カリーム クリーム

定 値

改

(小瓶) (小瓶) (大瓶) (中瓶) 参銭上げ (大) 武銭上げ 参銭上げ 五銭上げ

美肌作用をもつラセ ルモン性剤をマス 種へ巧妙に應用す 売素……スキンボ 曹特許の高貴な營 ターのクリーム雨 ランと云ふ獨逸事 ることを發見しま アノ胎異的

望が、是までのアレ上勝肌 本的生々美…即ち肌の君返 だけで止まらず▲地肌の根 まいりました。そこで数 りと云よことまで進んで 西澤理學博士 の苦心 面…製造元の探算は未曾有 躍進にめんじて、原價騰貴 に素晴しい美化力をもつた でも値段のことで、こんな で、何か此効用强化のクリ 都だけを愛用家 の幾分…別記の りませんが、この美化力の は決して、中止れませんの な困難に成て参ったのです 女美の為より に御願申上ま、さすれば で、時節柄せてとに中部あ スキイホルモン性剤の應用 續けさして頂 尚美党は愛用さ もうす次館でございますの ムニ品を一層の御愛用偏 さます。 が方の真の生 方にお負擔 層の努力を 通り極く少

美化力の向上と原價の ついての規定なのです。特徴品を作る…原料と芳香に(動き様方の マスター香をしなければ合格しない にマスターのパニシング と云よ關所で嚴重い科學檢 一西澤理學博士の研究室 原料の闘が そして

たして参ったのです。 して昨年のすえから實行い まだなに美のセンセ 大ながなに美のセンセ

年に旦る

は断然マスターにかぎるわ

…とまで絶讃…又大好評を

…どちちの御家庭でも一度

ーションを起したのは勿論

も使用の方には、クリーム

の人自監視によって無倫師が一の下に軽減し門の以手(牧師符勘)

門語で真拠人として著長から翻接」法主任言時、大興町事物の翌日、職職を開政秘護である、な世紀大一十名に至った金澤長は同選の戦闘

西大門署さらに懸命の活動

四季の出水に備へるため、京流道 | 各町 畿 代、京電 等の關係者六十 | に協議し細目を決定。 年後六時宇

**追廳で關係方面評定** 

重要打合せをした結果、置から提っされる麻痺、震感能に無能山一帯

水防委員會生る

脅威に備ふ

各種救濟設備を充實さしめ

容清の海上成行安全等を届める

『城席選第三回戦は二十一日午歌の子野塚帰出土健全鮮都川尉 全。軟式京城豫選

清水式結

像算六十萬間 四月行に

て防疫品級離となつて行く取脱にどらに各価級駅が時代相と単行し

警察の捜査の 裏をかき

を引起、配面(京戦中央総域観の 科学環館陣の威力によって登集総冊高面で繁設戦三百五十名 顕微蛇その健新総郡総を勝入して登集総冊高面で繁設戦に明年度から を配し、แ総分光際、指数端光器

- 共家族と共に容疑者として観難し した結果、型行に用ひた麻酔の入た路で、その後十齢日に亘り組及

手一つで女學校まで容楽させ、配 殴長を楽しみに苦しい気間から男 同氏は十歳年削減と死胎域一人のは廿日夕方服務廿一日初死亡した

豆城商進町三二の一金洪朱氏(\*:

軍部方面の力ぞ

娘可愛さに

文の悩みを見かれた由礼さんです。忘れひたすらをいた文への孝澄を一みを見るにたへかね死をもつて思

能して来た、金氏はこの壁痕の悩

れんとしたものである

でいるため、十回を前に

献金美談

秀町三一点 機能放氏は

は原現物普班性となってすべてを

警官の大増員と相俟ち

者威權の界斯 招氏夫二井澁

文部省體操科一改正要目準據

秋の運動會

石德

迎學校·幼稚園の男女教員

中等壓校·小學

京城師範學校大譜堂

**▲會毀は申込みと同時に成るべく削約のこと▲會員籠は酱目曾込まれ渡し▲申込みは密源の都含もあれば成るべく早くなされ宵が出の方は申込芸文はヘガキに住所、學校名、氏名を記載の** 

矢繼早やな三つの强盗事件を繞つて

を人気したがこれを同受けて連

受けの経験質できへ深し存立い

班アバートで内縁の態 銀笛ダン

**她銀行員** 慶大を出て 四月に入行

去る廿日仮東京本郷院富士

いっきつ

用第

期輕城京

低田の甘栗

花柳病專門

京城YMCA

年大セパート行大計画5百回 大製造ポインター生で1月計画 大製造ポインター生で1月計画 大製造ポインター生で1月計画

米京日案内

可與文中的校鄉四學年以下若干各

二十一日公師路器に開け出、

道商劍道

留方母より 三阪通り三八九 女 中 但し内地人一名希望

○ (万個間代) 中 域

普賢寺住時

金法龍

学校搬道大會に参加のため選手

発に於て職行される全日本中

山寺有林立木賞桃公告
「大町歩(泉) 香川崎山 一番水野 カンド・「順 あずまがん」

月 收 西北川岡大田 西北地帯 カール 関力性盛なるが観音

直會關

特別等队

蕒

登梁津្ 前住宅地 | 大田 | 1000年 | 大

警梁津龍風亭·碑 松林王宅地

明水臺河淵住宅地明水臺河淵住宅地

強 精 血

.

(二、四)三層)は廿一日午後三勝

完成經路 船縣校 練習 船大成丸

世で帆に消風を引ませながら

であるが後十一時には仁川池南

|の鎌定である||李仁川海路出版||附近で影を結び二十二日早朝人

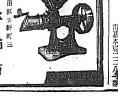
米機 代理店 喧喧嚣 泰明商會京城出張別 京 武水清温元 果京市神田區 水高 五軒町三 盲

けふの天氣

一一方へけ一日面仁郡山林監

紳士に用心





「おや、関が一緒に辿つて行きま

手には、男が何を云つてゐるかは

觀

戰

記

(2.2)

市川四長が敵の六五歩を見歩

「全軍」人で脚つちやお父さまに

要子はあの最初の晩のやうな歌し

待つてゐる、勿論その話と云ふの

T= 先四段 ▼ 給

步

やうな哀しげな瞳で、男を見上げ そつと気はらとした時、表願する

ります。その様の中は、真に色々

白いハンケチを変子の唇に當てゝ

本紙一萬號配念懸實小說二等當選

雜無斯上演映量

要子に消留つて、出て來た中村は 男たち女たち(八) 此の虚変子を連れて行きつけの符

· 後山) 本府線學官 恐醇醬

同(一時(型) 水泳器座へ二)同(一時(型) 水泳器座へ二)

一放 送

三五分國民歌後(第三日) 三五分國民歌・光は東方より 年本阿民歌・光は東方より

日の器座の多くが取に知らし

のみに止つてゐるに異つて、更に

同六時(器)コドモ日本史(七)

同九時三〇分 伽倻等数調

たることを述べたいと思ふ

てその政闘で行けれた安居こそ頃

ニユース(氣線通報・被

対 午後零時五分 時間其他 本水魚 間二時 開本が 明郎 水下の可能 間大時 同分 明郎 水下の可能 間入時 側部文化講座(三)近面海 間入時 側が 水下の可能

とする人権の疑惑完成にあつた。つて迷を厳じて番を組かしめやう

既つてゐる愛子の敬かい風に手を 『今から 本當に 一人で 融る心算 要もないやうにも思へた。熱れかだが今の場合そんな手段を選ぶる 題して上酸酸で盛り出した。中村は、愛子の後からそつと手を 来るやうな像しい心様だつた。 合の収職に自動出を積付すること うつた果は厭でもその様へ落ちて 「貴女は、僕の此の愉しい夢を歩

何か云はらとした愛子は、砂中で一「はいの無論、英國だのアメリカ、 鼻光に、ふつと中村の息を感じた ずつと那から志してゐた色々の國 を持つてゐるんですよ。 宿して中村の顔を仰いだ。中村に と、喜びの裡に微かな不安の陰を れが添へますかり となどは少しも気にかける必要は 異れさへすればいゝんだ。騙のこ るの?姉は萬事撰次第です。です 「結婚の事でしょうそれは私より

同六時五五分(京)カレントトビ 九大教授理専博士 大島 個

ニュース・天気見込・職

午後零時五分(大)吹奏樂・年前七時一分(東)朝の修養

慶

廿三日寺、物

住宅に就て講演年後に帰

ては自分の幸福は到底望めないや



廿二日番組 一放 水曜日

| 「日本 | 10本 | 10x | 10 八時三〇分(京)英語諸座 門六時 ラヂオ船操 竹内

午後零時〇五分(東)掛合噺

(イ) 辞録て(ロ) 稚児の 

教佛と養

進步に伴ひて薬の酸理を促が

**催夏季雑智會に纏師として出席** ととあり昨廿一日本派本願寺主 修巻にて「勝叠經」を放送した

一流争弱血戰普

(中央・電車・ 日本) (中央・国・田本) (中央・国・田本) (中央・国・田本) (中央・国・田本) (中央・国・田本) (中央・田本) (中国・田本) (中

七一角行ち、考へるところだれ、では同様、同金、大一飛なら五二角打、六二飛なら五二角打、六二飛なら

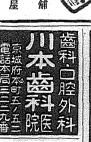
市川港は七五銀、同金の時、間 Ag 金 易二郎 区尼崎汽船出帆

级 前 行 以 前 行 比月十九日 七月二十日 级 前 行 以 前 行 上月二十日 七月廿一日 以 前 行 上月廿一日 以 前 行 上月廿一日 以 二十二十二日 以 二十二十二日 以 二十二十二日











んだ歯も黒

スモカが何

806

といふ人が いに限る! 問戶じまり 殿重を要す あつたら夜



定價十五鍵 薬店ニアリ

ROKUDAI をよる、而き起原因は凡で便識によるものなり云と」をよる、而き起原因は凡で便識に生命を強したる時に、九十七・七元の多き史なきにも不拘、壁神に出血を無し居るもの質に、九十七・七元の多き史なる、而き起原因は凡で便識の発用と、 南先生 日々 ◆グレアゴール博士日ク 症 應 適 ク萬病は便秘が原ク病気は殆ど皆宿便より宿便無さ人は病に冒 發 流 東京 大阪市東淀川區十三六大 製 顯闢 西 出 通 所 三六〇5人 整理 一巴丁酸 (長生法御中込茨第担呈)全国各薬店ニアリ



别b

ϯ 紃

經衰弱、性障碍、憂鬱症る性徴不全、生殖器性神の特徴を發揮し得ざ

退、動脈硬化、性力减退下、倦怠感、頭痛、食思减强度の疲勞感、能率の低

國際的に効力の優 秀を承認せられたる

同七時三〇分 游运

同八時(福) 花盤 井州 周八時五〇分(大) 映画則 同八時三〇分(徳) 俚路

出帆 代理店 阅踪弧幅支店七月十五日

代理區 北鲜面鉛組

元山出机

船川、青森、函流、小棉 一港地 伏木直行、新冯、池

嶋谷汽船株式會社質市響層研石町

釜山出帆 九州郵船株式會社

を間の動めは

頭にわるい、

赤ちやんへ

牛乳やコナ

仮とする 必需品-人工栄養の

と同じ菜養 ミルクの不

な起れ りるず

原よ胃の

朝 

店商衛兵長田武智 四 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 店商衛吳朝西小鹳 町本経路本日本京東 所究研顯器國社國帝 藝 町全大海 峰 以

\* \* \*

モンの効果は他の比較級品より強力なる・シ駒の効力比較試験』の結果、エナルクス博士による『男性ホルクス博士による『男性ホル

86-838(O)